

プラットフォーム事業者からのヒアリングシート回答①

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
1 前提：対象サービスの範囲について				
Q1-1 上記【想定対象サービス】欄に挙げられたもの以外に、貴社又は貴社の関係会社が事業上運営しているサービスであって、以下の①～③のいずれにも当てはまるもの（上記【想定対象サービス】欄に記載の類型以外を含む）があれば、御教示下さい。 ①インターネットを通じ、日本国内の不特定の者によって受信されることを目的としてコンテンツ（文字、画像、映像、音声など）を媒介・送信するものであること。 ②上記①のコンテンツに自社以外の第三者が作成・投稿したものが含まれること。 ③広告収入を主たる運営基盤としていること（※）。 ※広告収入以外の収入（購読料、寄付金など）を主たる運営基盤とするサービスは、いわゆるアテンション・エコノミーの影響を受けにくいと考えられるため、対象外とします。	【想定対象サービス】 SNS：LINE VROOM 検索：Yahoo!検索 ニュースポータル・キュレーション：LINE NEWS、Yahoo!ニュース ブログ・掲示板： Yahoo!知恵袋、Yahoo!ニュース（コメント機能）、Yahoo!ファイナンス掲示板 貴省からご指定いただいたもののほか、LINE オープンチャットがございますので、以下含めて回答させていただきます。	【想定対象サービス】 動画共有： ニコニコ動画、ニコニコ生放送 当社サービスの収益基盤は「プレミアム会員費（サブスクリプション方式）」が主たるもので広告収入は補助的な立ち位置になっています。 厳密には指定サービスも同様ですが、それを踏まえて以下に回答を進めさせていただきます。	【想定対象サービス】 ブログ・掲示板：はてなブログ はてなブックマーク、はてな匿名ダイアリー。（カクヨム（小説投稿サービス）マンガノ（漫画投稿サービス）は他社との協業のため今回は回答対象に入れていません）	【想定対象サービス】 ブログ・掲示板：Ameba ブログ ピグパーティ ※基本的な対応方針はブログと変わらないため、特にピグパーティのみに関する箇所はその旨特記の上で説明する
2 対象サービスの規模について				
Q2-1 対象サービスのうち、コンテンツの投稿に当たって利用者登録が必要なものについては、日本国内における（※1）最近の月間アクティブユーザー数（※2）として把握している数字を、いつの時点の数字かと併せて御教示下さい。 ※1 後記Q2-4参照。 ※2 1か月間に対象サービスに1度でもアクセスした利用者の数。	・Yahoo! JAPAN 月間アクティブユーザー数：約 8,500 万人 ※Yahoo! JAPAN 媒体資料（2023 年 3 月更新）P.14 より https://s.yimg.jp/images/listing/pdfs/yj_mediaguide.pdf https://www.lycbiz.com/jp/download/yahoo/（LINE ヤフーforBusiness） ※出典「ニールセン デジタルコンテンツ視聴率」（2022 年 1 月～12 月の月平均）	【※回答非公開】	非公表	会員数約 6500 万 MAU 約 2900 万

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	[Yahoo! JAPAN (ブランドレベル) で集計、2 歳以上の男女。スマートフォンとパソコンのユーザーの重複を含まない。] (上 3 桁目の数値を四捨五入) ・LINE 国内の MAU : 9,500 万人以上 (国内) ※自社調べ LINE アプリ 月間アクティブユーザー 2023 年 3 月末時点 ※LINE 媒体資料 : 2023 年 10-2024 年 3 月期 媒体資料 https://www.lycbiz.com/sites/default/files/media/jp/download/LINE%20Business%20Guide_202310-202403.pdf https://www.lycbiz.com/jp/download/line/			
Q 2 - 2 対象サービスのうち、コンテンツの投稿に当たって利用者登録が不要なものについては、日本国内における (※) 最近の月間合計投稿数として把握している数字を、いつの時点の数字かと併せて御教示下さい。 ※後記 Q 2 - 4 参照。		動画・生放送共に登録が必要なため無回答	非公表	ブログのコメント機能
Q 2 - 3 Q 2 - 1 及び 2 - 2 いずれの数字も把握していない対象サービスについては、日本国内における (※) 事業規模を示す数字として把握しているその他の数字 (登録ユーザー数など。推計値でもかまいません。) を御教示下さい。 ※後記 Q 2 - 4 参照		Q 2 - 1、2 - 2 に回答しているため無回答	登録アカウント数 : 約 1,214 万 (2023 年 7 月実績) ただし、長期休眠ユーザーや 1 人による重複登録、法人名義での利用も含んでおり、人数としての実数は 1000 万人には満たないものと考えています	
Q 2 - 4 Q 2 - 1 ~ 2 - 3 で御回答頂いた数字について、「日本国内における」数字であると整理された理由・基準を御教示下さい。 例 : 利用者登録時に入力された住所、投稿言語、投稿時の位置情報など	Yahoo! JAPAN の利用者数については、出典をご確認ください。 LINE の利用者数については、日本の電話番号で登録した数をカウントしています。	【※回答非公開】	現在利用言語はほぼ日本語に限られており、国外利用はかなり小規模なものであると考えている	・弊社が取得しているアクセスログに基づく ・97%が日本国内の利用者
3 偽・誤情報の流通・拡散への対応方針について				

（設問）	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
Q3-1 対象サービス上での日本国内における（※1）偽・誤情報（※2）の流通・拡散への対応について、次の3点を御教示下さい（※3）。 ※1 文字や音声については少なくとも日本語を含むもの、画像や映像については日本に関連する人・物・場所等の画像・映像を含むものを想定しております。それ以外の基準により「日本国内における」実態を把握している場合は、当該基準を明示いただいた上でお答えください。以下、「日本国内における」「日本国内において」「日本に関する」とある箇所につき同様。 ※2 ここではひとまず大まかに、「内容や発信主体等に関して虚偽や誤解を招く事項を含む情報」とお考え下さい。 ※3 既に公開している規約、ポリシー、ガイドライン等（以下「規約等」）の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記して、該当箇所を抜粋下さい。 （1）何らかの対応が必要と考える「偽・誤情報」の範囲（定義）・類型例：災害関係、健康・医療関係、選挙・政治関係、国際紛争関係、青少年関係、自殺誘発関係、犯罪（詐欺など）誘発関係、ディープフェイクなど （2）上記（1）の類型ごとに想定される典型事例 （3）上記（1）の類型ごとの具体的な対応方法 例：削除、アカウント停止、表示順位の降格、収益不能化、アクセス不能化、警告表示・ラベリング、ファクトチェック結果の	【共通】 インターネットにおける偽情報の流通の対策として、LINE ヤフーでは、ニュースコメント 欄と知恵袋については21年度から、Yahoo!ファイナンスにおいては23年にポリシーの変更を行い、偽情報である旨が明らかである投稿を禁止しています。このようなサービス運用による対策に加え、ファクト情報の伝達・支援、啓蒙啓発・リテラシー向上施策にも取り組んでいます。 【Yahoo!ニュースコメント欄】 （1）Yahoo!ニュース コメントポリシーにおいては、健康被害等をもたらす可能性のある偽情報であって、ファクトチェックにより反真実であることが明らかな投稿（明らかな偽情報）を禁止しています。 ・Yahoo!ニュース コメントポリシーURL：https://news.yahoo.co.jp/info/comment-policy （2）想定される典型事例 「新型コロナウイルスのワクチンを接種すると、流産する。不妊になる。」 「ワクチン接種された実験用の動物が全て死亡した。」 「ワクチンを接種することでコロナウイルスに感染する。」 （3） ・投稿の削除および、削除の累計により、投稿時注意メッセージの掲出・アカウントの投稿停止措置を行うことがあります。 ・なお、投稿停止措置を受けた携帯電話番号の所有者がYIDを再取得した場合でもコメント投稿が制限されます。 ・能登半島地震発生後より、以下の注意喚起をコメント詳細面で実施しております。 -----	（1） 健康・医療関係（新型コロナウイルス等、国内情勢に甚大な影響を与えている状況のもの） （2） 以下のような情報など、国内情勢に混乱を生じさせる情報の拡散 ・科学的根拠が不明な治療薬に関する情報 ・科学的根拠が不明なワクチン接種による健康被害に関する情報 ・科学的根拠が不明な感染拡大の原因に関する情報 （3） ・当社の対応に関する下記お知らせを掲出し、以下の内容を案内 https://blog.nicovideo.jp/niconews/158928.html ・コロナウイルス関連の情報の中には、真偽不明なものや不正確なものもある ・コロナウイルス関連の最新情報は政府関連機関の各サイトを参照ください ・政府関連機関が発信する情報が広く伝わるよう、以下の対応を行う 【動画】（対応期間：2021年10月1日～2022年12月31日） 以下に該当する場合に本お知らせへのリンクを表示し誘導 ・新型コロナウイルス感染症に関するタグが登録された動画の視聴ページ ・新型コロナウイルス感染症に関するタグの検索結果 【生放送】（対応期間：2021年10月1日～2021年10月31日） PC生放送視聴ページにおける重要なお知らせ	（1）内容による類型定義はおこなっていない （2）ここで問題となるフェイクニュースの多くはインプレッションや収益を目的としており、投稿される内容はその時々の大衆の興味に合わせたものになると考えられるため、内容をもとにした類型定義を行う意義があまりないと考えている （3）類型に応じて対応方法を変えらうことは行なっておらず、その表現や投稿行為の悪質性、公益性の有無、投稿者のサービス利用状況に応じて対応を決定している	（1） 医療関係→関連法規に違反するもの 自発誘発関係→自殺予告 犯罪（詐欺など）誘発関係→犯罪行為の呼びかけ・募集 （2） 医療関係→関連法規に違反するもの 自発誘発関係→自殺予告 犯罪（詐欺など）誘発関係→犯罪行為の呼びかけ・募集 （3） 削除対応 以下の利用規約に基づいて実施しています。 Ameba 利用規約 https://helps.ameba.jp/rules/post_104.html 第13条（禁止事項） 1-(1) ①殺害・虐待・自殺・自殺行為を肯定・勧誘あるいは助長するまたはその恐れのある内容（殺害・自殺の方法などを送信する行為を） 1-(3) ① 違法薬物、火器、けん銃など違法武器、爆発物の製造、売買、児童ポルノの提供、公文書偽造、殺人、傷害、詐欺、窃盗等の犯罪その他の法律

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
表示、投稿時の注記の義務付けなど	【文言】能登半島地震に関する誤情報に注意を 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください 【遷移先】メディア LP の誤情報の欄 https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a#a_fakenews ----- 【Yahoo!知恵袋】 (1) 利用のルールにおいて、明らかに事実と異なり社会的に混乱を招く恐れのある投稿（明らかな偽情報）を禁止しています。 ・利用のルール URL : https://chiebukuro.yahoo.co.jp/topic/guide/rule/ 「禁止事項 11：明らかな偽情報に関する投稿」 (2) 想定される典型事例 「(そのような事実がないにもかかわらず) 昨日、〇〇(地名)で大地震があったけど、、、」 「コロナワクチン殺人計画は本当ですか？接種したネズミは3年以内に死亡したそうです。」 「トランプ大統領、コロナで亡くなったみたいですね。やはり突然の重症化、恐ろしいウイルスです」 (3) ・ガイドライン違反があった場合、投稿の削除・投稿停止措置を行っています。 ・また、能登半島地震発生後より、知恵袋トップページに注意喚起文言を掲載しています。 https://chiebukuro.yahoo.co.jp/blog/2024/01/09-01.html ・新型コロナウイルス関連の対応として、	せのピックアップ欄に本お知らせへのリンクを表示し誘導 ・ユーザー周知のため、上記対応についてはユーザー向け発信用 X アカウントでも案内 https://x.com/nico_nico_talk/status/1443866041411534857?s=20		

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	「コロナ」などの該当ワードが含まれた質問について、厚労省など一次情報を発信して行政などへのリンクのあるモジュールを掲載していました。 【ファイナンス掲示板】 (1) ヘルプページでは、明らかな偽情報として、架空の出来事のでっちあげや虚偽の内容の投稿をすることを禁止しています。 ・ヘルプページ URL : https://support.yahoo-net.jp/SccFinance/s/article/H000011273 ※2023 年 11 月 1 日より「事実と反すること」から「明らかな偽情報」に表現を変更しました。 また、風説の流布に該当する場合違法行為となる可能性がある旨記載しています。 (2) 想定される典型事例 「〇〇会社が製造したワクチンを接種された実験用の動物が全て死亡した。」 (3) ・ガイドラインに違反した場合、投稿の削除・投稿停止措置を行っています。 メディア透明性レポート (2022 年度) URL : https://about.yahoo.co.jp/common/transparencyreport/ ・能登半島地震など偽情報が出回るような場面では、必要に応じて Yahoo! ファイナンス掲示板 (PC 版 TOP)、スマートフォン版 Yahoo! ファイナンス、アプリ版 Yahoo! ファイナンスの目立つ場所に注意喚起を掲出しています。 ・なお、また、風説の流布に対しヘルプ画面にて法律に抵触する可能性がある旨注意喚起を記載。発見した場合は該当の投稿欄			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	から証券取引等監視委員会へ情報提供できるようボタンを設置しています。 ・ヘルプページ URL : (風説の流布) https://support.yahoo-net.jp/ScFinance/s/article/H000012056 【LINE オープンチャット】 (1) LINE ヤフー共通利用規約において意図的に虚偽の情報を流布させる行為を禁止事項としているほか、LINE オープンチャット安心・安全ガイドラインにおいて、真偽不明の情報の拡散を禁止事項として定めています。 (2) 想定される典型事例 新型コロナウイルス関連 : 「コロナワクチンによって不妊になる」、「コロナは人口削減のために人工的に作られた」など 災害関連 : 「能登半島地震は人工地震である」など (3) LINE オープンチャット利用規約に基づき、以下の措置を講ずる場合があります。 ----- (1) 投稿コンテンツ又はオープンチャット若しくはトークルームの削除 (2) 投稿コンテンツ又はオープンチャット若しくはトークルームを第三者が閲覧又はアクセスできない状態に置く行為 (3) トークルームにおける音声通話からの強制退出又はトークルームにおける音声通話の強制終了 (4) お客様の LINE アカウントの停止又は削除 (5) 本サービスの一部又は全部の利用の停止 ----- また、以下のような偽誤情報に関する注意			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	喚起のための LP などにおいて、「政府が公式に否定する情報の投稿、およびそのような主張を展開することを目的とする投稿やオープンチャット」は削除する旨を公表しております。 https://lin.ee/UPfAi5Y/gy.jp https://lin.ee/8ZPbjWh/gy.jp 【LINE VOOM】 (1) 利用規約において以下のような行為を禁止しております。また、LINE アプリ上で公表している LINE VOOM コミュニティーガイドラインにおいて、誤情報の拡散を禁止行為としております。 ----- ・ 公の秩序または善良の風俗に反するおそれのある行為 ・ 当社または第三者の著作権、商標権、特許権等の知的財産権、名誉権、プライバシー権、その他法令上または契約上の権利を侵害する行為 ・ 当社または第三者になりすます意図的に虚偽の情報を流布させる行為 ・ 同一または類似のメッセージを不特定多数のお客様に送信する行為 ----- LINE ヤフー利用規約： https://terms.line.me/line_terms?lang=ja ----- LINE VOOM コミュニティ ガイドライン https://terms.line.me/line_voom_community_guideline?lang=ja&country=JP ガイドラインに違反する投稿をした場合、投稿内容の削除やアカウントの停止、退会などの対応を行います。 誤情報の拡散			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	当社または第三者になりすます行為や、フェイクニュースなど虚偽の情報、身体に影響を及ぼす食品、医療、医療薬などの虚偽の情報を意図的に発信・拡散・流布させる行為を許可しません。 ----- (2) 想定される典型事例 新型コロナウイルス関連：「コロナワクチンによって不妊になる」、「コロナは人口削減のために人工的に作られた」など 災害関連：「能登半島地震は人工地震である」など (3) 利用規約に基づき、データやコンテンツを削除したり、当社サービスの全部または一部の利用をお断りしたり、お客様のアカウントを削除したりするといった措置を講じる場合があります。			
Q3-2 Q3-1で御回答頂いた対応方針の背景となる基本的な考え方（重視している価値や哲学）があれば、御教示下さい。	【各サービス共通】 健康に深刻な被害をもたらしたり社会的混乱を生じる恐れがある偽情報・誤情報であって、政府機関をはじめとする信頼できる主体によりファクトチェックが行われるなど偽情報・誤情報であることが明らかであるものについて、投稿を禁止する等のルールを各サービスの利用実態に即した形で各々のガイドラインで定めています。 また、偽情報・誤情報の拡散のリスクに応じ、一部サービスにおいては「拡散希望」「拡散してください」など明示的に虚偽情報を拡散させようとする投稿を削除したり、明示的な拡散についての表現がなくても、その説を強く信じ込み、他者に対してもそれを信じさせようとする意図が感じられる投稿は削除するなどの対応を行っています。	上述のお知らせ内に記載している通り、以下の考え方が背景となります。 ・ニコニコは、自由にコンテンツを発表し、そのコンテンツを見た人が思い思いのコメントを付けることができるサービスである ・表現する人の人種、性別、年齢、所属する組織、過去の経歴などは一切問わず、誰もが平等に自分の思いや作品を発表できる場所である ・ユーザーのみなさまによる表現の内容に対して、ニコニコによる規制は最小限にとどめつつ、明確な法律違反や司法機関等からの要請があった場合には速やかに対応を行うことを徹底したい ・そうすることによって多くの素晴らしい作品が誕生し、特定のテーマに対する議論が深まり、ネットならではの文化が一層発展していったほしい	提供するサービスは、ユーザーの思いを自由に投稿するプラットフォームであり、投稿の自由は尊重したいと考えている。その一方、収益等を期待して目的と乖離した投稿利用が行われることがあり、偽情報はそれに相当するものが多い。そのような投稿は収益に対する最適化が行われる結果として投稿行動に一定の偏りが生じることが多いため、特徴的な利用状況を検知して利用制限を行うことで多くの不適切な投稿は抑制できるものと考えている。 また、ユーザーが自由に投稿を行うことにより、誤った情報に対する批判や訂正情報も寄せられることになり、結果的に中立性が保てることも期待している。 その一方、投稿者の思い込みや誤った知識により結果的にフェイク情報となってしまうような事例はある。そのような場合、運	Ameba 利用規約に明記しているものが基本的な方針です https://helps.ameba.jp/rules/post_104.html

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
			営者が利用停止等の強硬な対応を取ることは、投稿者の思い込みを強めてしまい逆効果となることがあるため、正しい情報を提供するバナーを表示するなど、より慎重な対応を要する。	
Q 3 - 3 Q 3 - 1 で御回答頂いた対応方針について、定期的な見直しや外部有識者・第三者機関等によるレビューを行っている場合は、(1) 当該見直し・レビューの頻度・タイミング、及び(2) レビューの実施主体を御教示下さい。	【各サービス共通】 2021 年 1 月に (旧) Z ホールディングスに「デジタル時代における民主主義を考える有識者会議」(座長：山本龍彦慶應義塾大学大学院法務研究科教授) を設置してフェイクニュースとデジタル時代における民主主義の在り方について概ね月 1 回程度ご議論をいただいています。会議では、(旧) 事業会社である LINE・ヤフー各社の偽情報・誤情報対策に関する取組についてもレビューいただいております、今後、その結果も踏まえた報告書を取りまとめ、当社の偽情報・誤情報対策の取組に反映していく予定としています。	現時点で、定期的な見直しや外部有識者・第三者機関等によるレビューは行っておりません。	定期的な見直しは行っていない。ユーザーに対するルールやガイドラインを制定する場合には、法曹関係者や有識者にヒアリングを行なっている(収益目的利用に対するルール制定の際には、日本アフィリエイト協議会理事にヒアリングを行うなど)	(1) 外部有識者・第三者機関等によるレビューは行っていますが、犯罪の傾向等時流に合わせた見直しを実施 (2) 削除対応実施部門
4 偽・誤情報の発信者(投稿者)の表現の自由等への配慮について				
Q 4 - 1 Q 3 - 1 で御回答頂いた対応方針の対象となる偽・誤情報(日本国内において流通するものに限り、以下「対象偽・誤情報」)の流通・拡散に対し、Q 3 - 1 (3) で御回答頂いた対応(以下「モデレーション等」)を実施した場合、実施の事実や理由を当該対象偽・誤情報の発信者(投稿者)に通知し、又は発信者(投稿者)の知り得る状態に置いている場合、その方法(※1)、言語及び内容(※2) を御教示下さい。 ※1 例えば、書面、電子メール、対象サービス上での表示など。 ※2 例えば、モデレーション等を実施した事実及び理由のほか、後記 5 の第三者通報によるものか、第三者通報を待たず自社	【Yahoo! ニュースコメント欄・Yahoo! 知恵袋・ファイナンス掲示板】 投稿者自身による投稿が一覧表示されるページ(マイページ)を設けており、当該ページを閲覧することで、投稿者は自身の投稿がモデレーションの対象となったり表示期間が経過するなどにより削除されることが可能となっています。 なお、知恵袋においては、削除が行われてから 2 週間の間、My 知恵袋のページにおいて削除理由を確認することが可能となっています。 (参考) https://support.yahoo-net.jp/PccChiebukuro/s/article/H000008062 アカウントの投稿停止措置については、投	Q 3 - 1 (3) で記載した対応については、「注意喚起」に留まり、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションではありませんが、当該施策における通知等について回答いたします。 【動画】の対応について、該当表示の対象となったコンテンツの発信者に対する通知は行っておりませんでした。 しかし、お知らせ内で、該当表示の対象となる条件を記載しているため、発信者が該当表示の対象となったことは知り得る状態にはなっておりました。 また、【生放送】の対応についても同様に該当表示の対象となったコンテンツの発信者に対する通知は行っておりませんでした	投稿者の登録メールアドレスあてに日本語で通知を行なっている。一部海外ユーザーと思われる者に対しては英語で通知することもある。通知内容については透明性を大切にしており、利用規約に定めどどの項目に合致するために利用停止としたか等の情報提供は行なっている。通報によるものであるか否かについては、通報者に対する逆恨みや、通報自体が不当な妨害行為であるといった主張をするなど、望ましくない結果になることがあるため、特に必要がない限りは通知をしていない。	対処した投稿全てに対してではないものの、必要に応じて提供サービス内で利用可能なメッセージにて違反投稿を削除した旨を通知しています。 また、違反投稿を行った投稿者専用ではないものの、広く利用者からの問い合わせを受け付ける窓口(お問い合わせフォーム)を設置しています。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
で検知・対応したものかといった実施の端緒や、Q 4－3 の苦情・不服申立て受付窓口に関する情報など。	稿しようとするときに「ログイン中の Yahoo! JAPAN ID は投稿が制限されています」という表示がされ、投稿制限がなされていることを把握することが可能となっています。 なお、上記のいずれのサービスにおいても対応言語はすべて日本語で行っています。 【LINE オープンチャット・LINE VOOM】 投稿者より CS にお問い合わせがあったときには、必要に応じてお伝えしています。 なお、上記のいずれのサービスにおいても対応言語はすべて日本語で行っています。	っていた表示となり、生放送サービスにおける全ての発信者が対象となっておりました。		
Q 4－2 対象偽・誤情報の流通・拡散に対して実施したモデレーション等について、当該対象偽・誤情報の発信者（投稿者）からの苦情や不服申立てを受け付ける窓口を設置している場合、当該窓口に関し、次の３点を御教示下さい。 （１）苦情・不服申立ての受付方法（※） ※ 例えば、オンラインフォーム、書面、電子メール、電話など。なお、予め定められている申請フォーマットがある場合は、当該フォーマットを添付（又はURLを付記）下さい。 （２）日本語による苦情・不服申立てを受け付けているか否か （３）窓口情報を日本語で公開している場合はその方法（※） ※ オンライン上で公開している場合はURLを付記下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】 （１）偽・誤情報の流通・拡散に限らず、Yahoo! ニュースのヘルプページに案内を掲載しています。 ・ヘルプページ URL : https://support.yahoo-net.jp/ScNews/s/article/H000006472 ・Yahoo! ニュース - お問い合わせフォーム URL (Yahoo! JAPAN ID でのログイン必須) : https://support.yahoo-net.jp/form/s/ScNews （２）日本語による苦情・不服申立てを受け付けています。 （３）お問い合わせ窓口情報をヘルプページに掲載しています。 ・ヘルプページ URL : https://support.yahoo-net.jp/ScNews/s/article/H000015740 【Yahoo! 知恵袋】 （１）削除された投稿（質問及び回答）に対して、削除がなされてから 2 週間、My 知恵袋のページにおいて削除理由を確認することができます。	（１） （２） （３） 特定の窓口は設置しておらず、以下のようなサポート問い合わせ窓口にご意見が寄せられた場合に対応を検討しておりました。 https://qa.nicovideo.jp/faq/show/76?site_domain=default	（１）問い合わせフォーム、メールアドレス （２）日本語による申立を受け付けている （３）窓口情報は明示的には公開しておらず、汎用の問い合わせ窓口 (https://hatena.zendesk.com/hc/ja) を利用することを想定している。通知メールには返信先を記載している。	（１） お問い合わせフォーム（メール） https://helps.ameba.jp/inquiry.html （２） 受け付けています （３） お問い合わせフォーム（メール） https://helps.ameba.jp/inquiry.html

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	・ (参考) https://support.yahoo-net.jp/PccChiebukuro/s/article/H000008062 (2) 日本語による苦情・不服申立てを受け付けています。 (3) お問い合わせ窓口情報をヘルプページに掲載しています。 ・ ヘルプページ URL : https://support.yahoo-net.jp/ScnNews/s/article/H000015740 【ファイナンス掲示板】 (1) 偽・誤情報の流通・拡散に限らず、疑問・意見等があるユーザーからは、以下の問い合わせフォームから受け付けています。 ・ Yahoo! ファイナンス - お問い合わせフォーム URL (Yahoo! JAPAN ID でのログイン必須) : https://support.yahoo-net.jp/form/s/PccFinance (2) 日本語による苦情・不服申立てを受け付けています。 (3) お問い合わせ窓口情報をヘルプページに公開しています。 ・ ヘルプページ URL : https://support.yahoo-net.jp/PccFinance/s/article/H000011273 【LINE オープンチャット】 (1) CS フォームからの問い合わせという形でご連絡いただき、CS の対応マニュアルに則り対応を進めます。 (2) 日本語による苦情・不服申立てを受け付けています。 (3) オープンチャットのための汎用 CS フォーム http://lin.ee/4nzkjeaWU/gy.jp を公開			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	しています。 【LINE VOOM】 (1) CS フォームからの問い合わせという形でご連絡いただき、CS の対応マニュアルに則り対応を進めます。 (2) 日本語による苦情・不服申立てを受け付けています。 (3) お問い合わせフォームを公開しています。 ・お問い合わせフォーム URL : https://contact-cc.line.me/ja/?continue_without_login=true			
Q 4 - 3 Q 4 - 2 で窓口を設置しているか否かにかかわらず、対象偽・誤情報の流通・拡散に対して実施したモデレーション等について、当該対象偽・誤情報の発信者（投稿者）から日本語で苦情や不服申立てを受けた場合における対応（以下「日本語苦情等対応」）（※ 1）に関し、次の 8 点を御教示下さい（※ 2）。 ※ 1 苦情・不服申立て内容の合理性や問題となったモデレーション等の適否を調査・判断し、場合によってはモデレーション等を撤回するなどの対応を指します。 ※ 2 問題となったモデレーション等が後記 5 の第三者通報によるものか、第三者通報を待たず自社で検知・対応したものかといった実施の端緒によって御回答内容が異なる場合は、当該実施の端緒別に御教示下さい。 (1) 日本語苦情等対応が可能な人員として常用している人数	(1) 【Yahoo!ニュースコメント欄・Yahoo!知恵袋・ファイナンス掲示板】 約 70 名 ※UGC 機能を有する全サービス共通の数値 透明性レポート URL : https://www.lycorp.co.jp/ja/privacy-security/privacy/transparency/ 【LINE オープンチャット・LINE VOOM】 お問い合わせ対応 10 名程度、通報対応 80 名程度 (2) 現時点では AI は活用しておりません。 (3) 及び (4) いずれのサービスについても、個別具体の苦情等対応についてご指摘の各機関が関与を行うことはありません。 (5) 作業上の目安を設定した上で事案に応じた対応を行っておりますが、特に外部公表はしておりません。 (6) 【Yahoo!ニュースコメント欄・Yahoo!知恵袋・ファイナンス掲示板】苦情等対応に	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) Q 3 - 2 で回答した考え方を踏まえ、当社では「掲載された情報の真偽」を判断することが困難なため、Q 3 - 1 (3) で回答した「政府関連サイトへの誘導」以外の「該当情報の掲載自体に関わるモデレーション等」を実施した履歴がありません。これにより、実際に日本語苦情等対応が発生したことがないため、対応フローの検討自体がなされておらず、大変恐縮ながら、現時点では上記 (1) ~ (8) のご質問には回答できない状態です。	(1) 5 名 (2) AI の導入はなし (3) ファクトチェック機関やマスメディアの利用はなし (4) 外部機関の関与はなし (5) 2 営業日以内 なお「開始」は通報フォーム送信時刻、「完了」は通報者に対する返信、通報者が返信不要と意思表示しているものについて是对応システム (zendesk) でステータスを「完了」に変更した時点です。 (6) メールでの返信 (日本語) (7) 再審査制度は設けていない (8) 優先対象はない	(1) 約 10 名 (2) AI その他の機械的手段は利用していません。 (3) そのような関与はありません (4) そのような関与はありません (5) メール着信時を開始時間とし、最終的な回答メール送信時を完了時間としています。開始から完了まで 24 時間を目標にしています。 (6) メールをいただいた場合は、日本語にてメール返信をし結果を回答しています。 (7) 再審査制度は設けていません。 (8) 警察署からの連絡については、専用の窓口をお伝えしております。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
(2) 日本語苦情等対応にA I その他の機械的手段を利用している場合は、当該手段の概要及び利用手順(どのようなケースで用いるのかなど) (3) 日本語苦情等対応にファクトチェック機関やマスメディア(新聞・放送)を関与させている場合は、当該機関等の名称及び関与手順(どのようなケースで関与させており、その意見等を日本語苦情等対応へどのように反映させているのかなど) (4) 上記(3)以外の外部有識者・団体を日本語苦情等対応に関与させている場合は、当該外部有識者・団体の名称及び関与手順(どのようなケースで関与させており、その意見等を日本語苦情等対応へどのように反映させているのかなど) (5) 日本語苦情等対応の開始から完了までの目標期間を定めている場合は、当該目標期間(「開始」及び「完了」の定義を含む) (6) 日本語苦情等対応の結果を発信者(投稿者)に通知し、又は発信者(投稿者)の知り得る状態に置いている場合は、その方法、言語及び内容 (7) 日本語苦情等対応の結果に対する再審査制度を設けている場合は、その概要(日本語による再審査要求を受け付けているか否か、及び外部有識者や第三者機関を関与させている場合はその詳細を含む) (8) 特定の発信者(投稿者)(※)からの日本語による苦情・不服申立てを優先的に取り扱うこととしている場合は、当該発信者(投稿者)の類型及び具体的な優先的取扱いの内容 ※ 例えば、国会、裁判所、行政機関、地方公共団体、その他公的機関(独立行政法人等)、国際機関、専門機関、ファクトチ	当たっては、お問い合わせフォームや書面で申出を受け付け、専門部署よりメール又は書面にて回答しています(対応はすべて日本語)。 【LINE オープンチャット・LINE VOOM】削除などの対応の際、発信者(投稿者)への連絡は行っておりません。 なお、LINE アプリのお問い合わせフォームでご連絡をいただいた場合には、お問い合わせ履歴をアプリ上でご確認いただけます。 (7) いずれのサービスについても、必要に応じて各サービスにおけるポリシーやルールの制定・改廃担当者や法的判断を行う専門部門へのエスカレーションを実施し、適切な判断がなされるように体制を構築しています。 (8) 苦情等申立ての主体が誰であるかを問わず、原則として申立ての内容や措置による被害の深刻度等に応じた対応を行っています。			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
エック機関など Q 4－4 Q 4－3 で御回答頂いた内容を公開している場合は、その方法（※）を御教示下さい。 ※ オンライン上で公開している場合はURL を付記下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄・Yahoo!知恵袋・ファイナンス掲示板】 2021 年度より、メディア透明性レポートにおいて公開しています。 ・「Yahoo! JAPAN、誹謗中傷など不適切な投稿への対応状況をまとめた「2022 年度 メディア透明性レポート」を公開」: https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/09/28a/ ・メディア透明性レポート（2022 年度版）: https://about.yahoo.co.jp/common/transparencyreport/ 【LINE オープンチャット】 以下のような虚偽情報に関する注意喚起のための LP などにおいて、「政府が公式に否定する情報の投稿、およびそのような主張を展開することを目的とする投稿やオープンチャット」は削除する旨を公表しております。 ・https://lin.ee/UPfAi5Y/gyjp ・https://lin.ee/8ZPbjWh/gyjp	Q 4－3 と同様	非公開です	公開していません。
5 偽・誤情報の流通・拡散に対するモデレーション等の手続・体制について				
Q 5－1 対象偽・誤情報の流通・拡散について、それにより権利を侵害されている者及び発信者（投稿者）以外の第三者からの通報（以下「第三者通報」）を受け付ける窓口を設置している場合、当該窓口に関し、次の4点を御教示下さい。 （1）受け付けている通報手段（※） ※ 例えば、オンラインフォーム、書面、電子メール、電話など。なお、予め定めら	【Yahoo!ニュースコメント欄】 （1）各投稿の右上「非表示・報告」ボタンの先に「コメント違反報告」フォームを設けています。オンラインの申告フォームの他、書面でも受け付けています。 偽・誤情報に関しては、「明らかな偽情報」を選択して通報いただくようになっている。なお、真偽不明の通報も散見されることから、「※「明らかな偽情報」の報告をいただく場合は、公的機関によるファク	（1） ・偽・誤情報の流通・拡散によるものに限定した窓口は設定しておりません。以下、権利を侵害されている者からの通報、第三者からの通報の汎用的な窓口についてお答えいたします。 ・権利を侵害されている者からの通報 1. オンラインフォーム 申請フォーマット：次の	(1) オンラインフォーム、電子メール、書面の郵送、FAX にて受け付けています。 権利侵害情報については https://policies.hatena.ne.jp/deletion-flow その他の通報については https://hatena.zendesk.com/hc/ja の https://hatena.zendesk.com/hc/ja/article	（1） 通報フォーム https://cs.ameba.jp/inq/inquiry/vio ※お問い合わせフォーム（メール）から報告を受けた場合も確認いたします https://helps.ameba.jp/inquiry.html （2） 特に制限はなく、会員でなくても可能です （3） 日本語による通報が可能です

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
れている申請フォーマットがある場合は、当該フォーマットを添付（又はURLを付記）下さい。 （２）通報できる主体に限定を設けている場合は、当該主体例：利用者登録済みユーザー、ログイン済みユーザー、国会、裁判所、行政機関、地方公共団体、国際機関、専門機関、ファクトチェック機関など （３）日本語による通報を受け付けているか否か] （４）窓口情報を日本語で公開している場合はその方法（※）※ オンライン上で公開している場合はURLを付記下さい。	トチェック済みの情報を添えてお知らせください。」と記載しています。 （２）通報できる主体に制限はありません。 （３）日本語による通報を受け付けています。 （４）（１）に記載の通りです。 【Yahoo!知恵袋】 （１）偽情報等や第三者の権利を侵害するような投稿を含めたポリシー違反の投稿等について申告窓口を用意しています。オンラインの申告フォームの他、書面でも受け付けています。 （２）Yahoo!ID 取得ユーザーのみ申請可能となっています。 （３）日本語による通報を受け付けています。 （４）（１）に記載の通りです。 【ファイナンス掲示板】 （１）投稿への通報は、各投稿の右上の「違反報告する」から受け付けています。オンラインの申告フォームの他、書面でも受け付けています。 （２）通報できる主体に制限はありません。 （３）日本語による通報を受け付けています。 （４）（１）に記載の通りです。 【LINE オープンチャット】 （１）CS フォーム (http://lin.ee/4nzkjeaWU/gyjpZ)からの通報が可能です。また、サービス上から「通報」機能を使って通報することができ、そのコンテンツがモニタリングツール	2 ページに添付する画像の通り 【動画】 【生放送】 2. 書面 申請フォーマット：当社で指定しているものはありませんが、プロバイダ責任制限法関連情報 Web サイト (https://www.isplaw.jp/) で案内されている書式をご利用いただくことが専らです。 ・ 第三者通報 1. オンラインフォーム 申請フォーマット： 【動画】 ・ 以下より違反項目を選択 ・ 性的な内容が含まれている ・ 暴力的な内容が含まれている ・ グロテスクな内容が含まれている ・ 不快な表現が含まれている ・ 差別的な表現が含まれている ・ 残虐な内容が含まれている ・ 法令に違反する内容が含まれている（権利侵害以外） ・ その他 ・ 以下より違反種別を選択 ・ 映像 ・ 音声 ・ 映像＋音声 ・ 詳細（自由入力） 【生放送】 ・ 以下より違反	les/900001845703 この項目から受け付けます (2) 制約はありません (3) 受け付けています (4) (1) で記載したオンラインフォームにて公開しています	(4) 通報フォーム https://cs.ameba.jp/inq/inquiry/vio ※お問い合わせフォーム（メール）から報告を受けた場合も確認いたします https://helps.ameba.jp/inquiry.html

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	に流入することでモニタリングの対象となります。 (2) CS フォームは、LINE アカウントを使ったログイン、またはメールアドレスを記入していただくことにより、どなたでも情報の送信が可能です。 「通報」機能を使った通報については、オープンチャット内の投稿などのコンテンツやユーザーを通報する場合はそのオープンチャットに参加していることが必要、オープンチャットそのものを通報することは参加していなくても通報メニューが選択できるようになっています。 (3) 日本語による通報を受け付けています。 (4) アプリ上から CS フォームに辿り着くことができるだけでなく、Admins' HUB (https://openchat-jp.line.me/admin/top) などの各種 LP に CS フォームへの導線を設定しています。 【LINE VOOM】 (1) サービス内の通報ボタンから通報が可能です。ユーザからの通報に基づき、ガイドライン違反の可能性があるコンテンツを確認・判断し、必要な措置を実施しています。また、LINE アプリ及び PC のお問い合わせフォームにより、第三者からご連絡をいただくことができます。 (お問い合わせフォームからのご連絡については、LINE アプリについてはログイン可能な方、PC についてはログイン不要で誰でもご連絡可能) (2) 通報できる主体に制限はありません (LINE にログイン可能な方であれば誰でも通報可能)。 (3) 日本語による通報を受け付けていま	項目を選択 ・ 性的な内容が含まれている ・ 暴力的な内容が含まれている ・ 残虐な内容が含まれている ・ グロテスクな内容が含まれている ・ 法令に違反する内容が含まれている ・ 他ユーザーの生放送を妨害する行為 ・ カテゴリ違反 ・ 番組視聴者による違反行為 ・ 以下より違反種別を選択 ・ 映像 ・ 音声 ・ 映像 + 音声 ・ 詳細 (自由入力) (2) 権利侵害による削除申請は権利侵害の被害を受けた本人 (または法的な代理人) のみ可能としていますが、その他通報できる主体に限定は設けていません。 (3) 受け付けています。 (4) ・ オンラインフォームによる通報方法は下記ヘルプページに記載 【動画】 https://qa.nicovideo.jp/faq/show/773?site_domain=default 【生放送】 https://qa.nicovideo.jp/faq/show/775?site_domain=default ・ 書面による通報方法は公開しておらず、問い合わせがあった場合に回答		

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	す。 (4) LINE アプリ上のヘルプセンターまたは PC のお問い合わせフォーム https://contact-cc.line.me/ja/?continue_without_login=true			
Q 5 - 2 Q 5 - 1 の窓口を設置している場合、日本語による第三者通報を受け付けた後の対応（以下「日本語通報対応」）(※ 1) に関し、次の 8 点を御教示下さい(※ 2)。 ※ 1 通報内容の合理性や問題となったコンテンツの対象偽・誤情報該当性を調査・判断し、場合によってはモデレーション等を実施するなどの対応を指します。※ 2 通報主体や対象偽・誤情報の類型（Q 3 - 1 (1) 参照）毎に異なる場合は、当該主体別又は類型別に御教示下さい。 (1) 日本語通報対応が可能な人員として常用している人数 (2) 日本語通報対応に A I その他の機械的手段を利用している場合は、当該手段の概要及び利用手順（どのようなケースで用いるのかなど） (3) 日本語通報対応にファクトチェック機関やマスメディア（新聞・放送）を関与させている場合は、当該機関等の名称及び関与手順（どのようなケースで関与させており、その意見等を日本語通報対応へどのように反映させているのかなど） (4) 上記 (3) 以外の外部有識者・団体を日本語通報対応に関与させている場合は、当該外部有識者・団体の名称及び関与手順（どのようなケースで関与させており、その意見等を日本語通報対応へどのように反映させているのかなど）	【全サービス共通】 (1) ～ (5) 及び (7) について Q 4 - 3 の回答のとおりです。 (6) CS を通じて通報があった場合には通報者に結果を通知することがありますが（その場合は日本語で行います）、サービス上の「通報」機能を通じて通報されたものについては通報者に対しての結果通知は行っていません。 (8) 現時点においてそのような取扱いはありません。なお、現在までに、特定の機関から社会的混乱を招く恐れがある偽情報・誤情報であることを理由として具体的な投稿を示して削除請求を受けた実績はありません。	「偽・誤情報である」といった通報があったことを契機にコンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っておりません。 しかしながら、偽・誤情報の流通・拡散により権利を侵害されている者からの削除申請があった場合には、プロバイダ責任制限法に基づき削除等の対応を検討しております。 ここでは、その対応窓口の体制について回答いたします。 (1) 4～6 人 (2) 利用しておりません。 (3) 関与させておりません。 (4) 関与させておりません。 (5) 対応判断には、申請者に行う「権利保有状況に関する情報提示依頼」への返答が必要となることから、専らであることから、対応完了までの目標期間は定めておりません。	(1) 5 名 (2) AI の導入はなし (3) ファクトチェック機関やマスメディアの利用はなし (4) 外部機関の関与はなし (5) 2 営業日以内 なお「開始」は申立者がフォーム送信した時刻、「完了」は申立者に対する初回の返信、申立者が返信不要と意思表示しているものについては対応システム (zendesk) でステータスを「完了」に変更した時点です。 特に権利侵害情報については申立者に事情聴取などを行う必要があり、情報削除手続き自体が完了するまでの時間の基準は設けていません。 また、文書の場合、送受信のタイムラグが生じるため時間の基準は設定していません。 (6) メールでの返信（日本語）文書でメールアドレスの記載がない場合は、FAX、郵送での返信 (7) 再審査制度は設けていない (8) 優先対象はない	(1) 約 15 名 (2) A I その他の機械的手段は利用していません。 (3) そのような関与はありません (4) そのような関与はありません (5) 通報着信時を開始時間とし、確認・対応が必要な場合の削除対応完了時を完了時間としています。開始から完了まで 24 時間を目標にしている (6) 通報に関しては報告フォームで受け付けており、報告者の連絡先をいただいていないため回答ができない仕組みになっています。 (7) 再審査制度は設けていません。 (8) 警察署からの連絡については、専用の窓口をお伝えしております。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
(5) 日本語通報対応の開始から完了までの目標期間を定めている場合は、当該目標期間(「開始」及び「完了」の定義を含む) (6) 日本語通報対応の結果を通報者に通知し、又は通報者の知り得る状態に置いている場合は、当該通報の方法、言語及び内容 (7) 日本語通報対応の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあったときの専用窓口や処理手順を定めている場合は、その概要(日本語による不服申立て・問合せを受け付けているか否か、及び外部有識者や第三者機関を関与させている場合はその詳細を含む) (8) 特定の通報主体(※)からの日本語による通報を優先的に取り扱うこととしている場合は、当該通報主体の類型及び具体的な優先的取扱いの内容 ※ 例えば、国会、裁判所、行政機関、地方公共団体、国際機関、専門機関、ファクトチェック機関など		しかしながら、申請者からスムーズに情報提供がなされ、権利侵害の発生有無が明らかに判断できる一般的なケースでは、概ね1週間程度で対応が完了しております。 ※「開始」の定義 通報フォームからの申請を受領した時 ※「完了」の定義 ・対象情報の削除を行い、申請者に削除を行ったと通知を行う時 あるいは、 ・申請者から提示された情報より、権利侵害が発生していると判断できず、削除不可との通知を行う時 ※「権利保有状況に関する情報提示依頼」への返答がない場合は、「完了」しない (6) 方法：メール 言語：日本語 内容：削除有無の事実 (7) 専用窓口や処理手順は定めておりません。申請者が権利侵害対応の担当窓口の判断に不服がある場合は、引き続き同一の窓口で新たな情報提供を受け付け、権利侵害の発生有無を判断しております。 (8) 権利侵害対応において、特定の通報主体からの通報を優先的に取り扱うことはしておりません。		
Q 5 - 3	【全サービス共通】	(1)	(1) 頻度を設けて網羅的に調査を行うこと	(1)

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
対象偽・誤情報の流通・拡散について、第三者通報を待たず自社で検知・対応（以下「検知・対応」）（※１） することがある場合、次の５点を御教示下さい（※２）。 ※１ 検知内容の合理性やモデレーション等の必要性を調査・判断し、場合によってはモデレーション等を実施するなどの対応を含みます。 ※２ 対象偽・誤情報の類型（Ｑ３－１（１）参照）ごとに異なる場合は当該類型別に御教示下さい。 （１）検知・対応に向けた調査を実施する頻度・ケース （２）検知・対応にＡＩその他の機械的手段を利用している場合は、当該手段の概要及び利用手順（どのようなケース・頻度で用いるのかなど） （３）検知・対応にファクトチェック機関やマスメディア（新聞・放送）を関与させている場合は、当該機関等の名称及び関与手順（どのようなケースで関与させており、その意見等を検知・対応へどのように反映させているのかなど） （４）上記（３）以外の外部有識者・団体を検知・対応に関与させている場合は、当該外部有識者・団体の名称及び関与手順（どのようなケースで関与させており、その意見等を検知・対応へどのように反映させているのかなど） （５）検知してからモデレーション等を実施するまで（モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで）の目標期間を定めている場合は、当該目標期間	（１）いずれのサービスについても、偽情報・誤情報への対応に限らず、24 時間 365 日稼働で各サービスにおける違反投稿のパトロール・検知・判定を行っています。 （２）現時点において偽・誤情報を対象とした検知・モデレーションに AI その他の機械的手段は活用しておりません。 （３）及び（４）個別具体の偽情報・誤情報の検知・対応に当たって外部機関が関与することはありません。なお、虚偽情報であるかどうかの判断に当たっては、必要に応じ政府機関や日本ファクトチェックセンター等による公表内容を参照しています。 （５）作業上の目安を設定した上で事案に応じた対応を行っておりますが、特に外部公表はしておりません。	（２） （３） （４） （５） Ｑ４－３などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を主体的に判断するのは困難なため、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っておりません。 そのため、基本的に検知・対応を行うことはありません。	はない。トップページ、ランキング等のメディアページについては随時目視で確認をしている (2) AI の導入はなし (3) ファクトチェック機関やマスメディアの利用はなし (4) 外部機関の関与はなし (5) 検知後すみやかに対応することとしており目標期限は設けていない	対象偽・誤情報になる恐れのある記事に注意喚起文言を追加しております。 基本的には当事者や関係者からの問い合わせや通報等をもとに確認を行っています（ブラウザのみ？要確認） （２） 関連ワードを抽出し自動で表示 市況感を鑑みて、関連ワードを追加 （３） そのような関与はありません （４） そのような関与はありません （５） そのような関与はありません
Ｑ５－４ Ｑ５－２及び５－３で御回答頂いた内容を公開している場合は、その方法（※）を	【Yahoo!ニュースコメント欄・Yahoo!知恵袋・ファイナンス掲示板】 ・2021 年度より、メディア透明性レポート	Ｑ３－３で回答したお知らせ内で「ニコニコによる規制は最小限にとどめつつ、明確な法律違反や司法機関等からの要請があっ	非公開です	公開していません。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
御教示下さい。 ※ オンライン上で公開している場合はURLを付記下さい。	において公開しています。 ・メディア透明性レポート（2022 年度版）： https://about.yahoo.co.jp/common/transparencyreport/ ・「Yahoo! JAPAN、誹謗中傷など不適切な投稿への対応状況をまとめた「2022 年度 メディア透明性レポート」を公開」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/09/28a/ 【LINE オープンチャット】 ・サステナビリティページ (https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/esg/social/service-satisfaction/) ⇒「審査、パトロールの実施」の項目で説明を行っています。 ・安心・安全ガイドライン： https://openchat.jp.line.me/other/guideline 【LINE VOOM】 ・LINE VOOM コミュニティ ガイドライン： https://terms.line.me/line_voom_community_guideline?lang=ja&country=JP	た場合には速やかに対応を行う」という姿勢は公開しておりますが、その他の情報については公開しておりません。		
6 偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について				
Q 6－1 2022 年中及び2023 年中それぞれに関する（※1）次の20 点）として把握している数字があれば、御教示下さい（※2）。 ※1 別の期間の数字のみ回答可能な場合は、期間を明示した上で当該数字を御教示下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】※数値は精査中のものです （1）「明らかな偽情報」の項目で投稿削除した件数 22 年度_偽情報の削除数：1,760 件 （集計期間：22 年 4 月～23 年 3 月） 23 年度_偽情報の削除数：848 件	Q 4－3 などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」は判断しない立場を取っており、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っておりませんが、Q 6－1（1）～（4）では、Q 3－1（3）に記載した「注意喚起」の対応について回答いたします。	偽・誤情報とスパム行為、迷惑行為について対応時に区別をしていないため、対応実態の数値は取得していません。	（1） 削除・非表示件数に関しては、月間で約3000 件になります。 （ブログ記事約 1000 件、ブログ記事についたコメント約 2000 件） （2） —

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
※2 可能であれば、対象偽・誤情報の類型別（Q3-1（1）参照）、モデレーション等の方法別（同（3）参照）の数字も併せて御教示下さい。また、可能であれば、（9）～（12）については通報主体別（Q5-1（2）参照）、（18）・（19）については発信者（投稿者）の類型別の数字も併せて御教示下さい。 （1）対象偽・誤情報（※）についてモデレーション等を実施した件数 ※ Q4-1のとおり、対象偽・誤情報は「日本国内において流通するもの」に限りますが、対象偽・誤情報に関する数字を把握していない場合で、何らかの推計値や、対象偽・誤情報に関する数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どのような数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。 （2）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段のみによって検知・対応した件数 （3）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段と人間の手を組み合わせてモデレーション等を実施した（第三者通報への対応過程でAIその他の機械的手段を利用した場合を含む）件数 （4）上記（2）（3）のうち、AIその他の機械的手段による判断結果に誤りがあることが事後的に判明した（上記（3）において人間の手によって補正された場合を含む）件数 （5）上記（1）のうち、ファクトチェック機関の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数 （6）上記（1）のうち、マスメディアの意見等を反映してモデレーション等を実施した件数 （7）上記（1）のうち、上記（5）	（集計期間：23年4月～23年12月） （2）該当なし（偽情報・誤情報に関して、AIその他機械的手段での「検知」「削除」は実施していません。） （3） ・22年度_偽情報の削除数：438件 （集計期間：22年4月～23年3月） ・23年度_偽情報の削除数：514件 （集計期間：23年4月～23年12月） ※CSで利用しているAIで検知（偽情報に限らない）し、偽情報項目で削除した件数 （4）（2）：偽情報を理由とした削除等で、申立てがあり、投稿を復活させた件数は0件 （3）：削除済みコメントを全件チェックすることは困難なため算出不可 （5）・（6）該当なし （7）ニュースコメントにおいては、コロナ関連情報について厚労省のQ&Aサイトをファクトチェック情報として扱い、削除対象と定めています（件数は1で回答したすべて） （8）現時点では、ありません （9）「明らかな偽情報」項目を選択して違反報告された件数を集計することが困難 ※違反申告はあくまで端緒情報として用いられるものであり、その内容や理由について必ずしも正確性が担保されていない場合もあることから、偽・誤情報に限らず申告理由についての集計を行っていません。 （10）（9）の削除申告を契機にした件数のみを抽出することはできません。削除件数については（Q6-1）の通り。 （11）作業上の目安を設定した上で事案に応じた対応を行っておりますが、特に外部公表はしていません。 （12）違反報告はYahoo! JAPAN ID（以下	（1） Q3-1（3）で記載した表示条件にあてはまるコンテンツに対し表示を行った。 （2） （1）と同数 （3） 0件 （4） 0件 ※注意喚起の表示条件を「掲載された情報の真偽」ではなく「特定のタグがつけられている」あるいは「全てのコンテンツ」としていたため、判断の誤りが存在しない （5） （6） （7） （8） Q4-3などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を判断するのは困難なため、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っておりません。そのため、現時点では上記（5）～（8）については対応を行っておりません。 （9） 【※回答非公開】 （10）		（3） — （4） — （5） — （6） — （7） — （8） — （9） — （10） — （11） — （12） — （13） — （14） — （15） — （16） — （17） — （18） — （19） — （20） —

（設問）	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
（６）以外の外部有識者・団体の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数 （８）上記（５）～（７）のうち、ファクトチェック機関、マスメディアその他の外部有識者・団体の意見等に誤りがあることが事後的に判明した件数 （９）対象偽・誤情報に関する日本語による（※）第三者通報の総数 ※ 日本語による第三者通報の件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい（推計でもかまいません）。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。 （10）上記（９）の第三者通報を契機として対象偽・誤情報についてモデレーション等を実施した件数 （11）上記（９）の第三者通報を受け付けてからモデレーション等を実施するまで（モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで）に要した期間の平均値 （12）上記（９）のうち、モデレーション等の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあった件数 （13）Ｑ４－２の窓口への対象偽・誤情報に関する発信者（投稿者）からの日本語による（※）苦情・不服申立て件数 ※ 日本語による苦情・不服申立て件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を	YID）でのログインが不要で制限なく受け付けている。他方、不服申し立て等の問い合わせに関してはYIDのログインが必須のところ、違反報告申告者との照会を行っていないため同一人物からの改めてのお問合せかどうかについては算出ができない （13）６件 （14）０件 （15）偽情報を理由として実施したモデレーションにつき、撤回した件数は０件 （18）０件 （16）（17）（19）（20）該当なし 【Yahoo!知恵袋】※数値は精査中のものです （１）451件（2023年７月～2023年12月） （２）該当なし（偽情報・誤情報に関して、AI その他機械的手段での「検知」「削除」は実施していません。） （３）明らかな偽情報に関する投稿として削除された投稿の件数：約 30 件（22 年 3 月） （４）～（６）該当なし （７）451 件（2023 年 7 月～2023 年 12 月） ※ファクトチェック機関との連携 現時点でファクトチェック機関からの申告受付実績はないが、必要に応じて速やかな違反投稿の確認が行えるよう、体制の在り方について検討を行っている。 （８）該当なし （９）算出困難（違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため） ※違反申告はあくまで端緒情報として用いられるものであり、その内容や理由につい	（11） （12） （13） （14） （15） （16） （17） （18） （19） （20） Ｑ４－３などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を判断するのは困難なため、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っておりません。 そのため、現時点では上記（10）～（20）の対応は行っておりません。		

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
明示頂いた上で当該数字を御回答下さい (推計でもかまいません)。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。 (14) Q 4－2の窓口以外を通じた対象偽・誤情報に関する発信者(投稿者)からの日本語による苦情・不服申立ての件数 (15) 上記(13)(14)のうち、当該苦情・不服申立てに基づき、問題となったモデレーション等を撤回した件数 (16) 上記(13)(14)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値 (17) 上記(13)(14)のうち、Q 4－3(7)の再審査要求があった件数 (18) 上記(13)(14)のうち、Q 4－3(8)の類型に該当する特定の発信者(投稿者)による苦情・不服申立ての件数 (19) 上記(18)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値 (20) モデレーション等の有無・内容に関し、発信者(投稿者)、通報者との間で、訴訟・仲裁・調停など裁判所等の外部紛争解決機関が関与する手続に発展した件数	て必ずしも正確性が担保されていない場合もあることから、偽・誤情報に限らず申告理由についての集計を行っていません。 (10) 算出困難(違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため) (11) 算出困難(違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため) (12) 算出困難(違反申告が非返信フォームであり、お問い合わせフォームが窓口となるため) (13) 算出困難(お問い合わせ窓口に来た違反報告・削除反論案件の中身を一件ずつ確認していかなければならないため) (14) 0 件 (18) 0 件 (15) ～(17)(18)(20) 該当なし 【ファイナンス掲示板】※数値は精査中のものです (1) 偽・誤情報のみを理由とした削除件数は0 件 (2) 該当なし(偽情報を検知する AI はなく、偽情報削除件数も 0 件なため) (3) ～(8)(偽情報削除件数が 0 件であるため) (9) 現状、違反申告時の理由の選択肢として「明らかな偽情報」の項目がなく、件数を集計することが困難 (10)(9)の理由から、抽出することはできません。 (11) 違反報告受付から削除措置までの時間は概ね 6 時間以内 ※偽情報のみ切り出し不可のため申告理由問わない平均期間を回答 (12) 違反報告は Yahoo! JAPAN ID (以下			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	YID) でのログインが不要で制限なく受け付けている。他方、不服申し立て等の問い合わせに関しては YID のログインが必須のところ、違反報告申告者との照会を行っていないため同一人物からの改めてのお問合せかどうかについては算出ができない (13) 0 件 (14) 0 件 (15) ～ (17) (19) 該当なし (18) 0 件 (20) 企業から「風説の流布・虚偽の内容が掲示板に記載された」と公表されるケースはあるが、企業側から通知はないため件数は把握できない。 【LINE オープンチャット】※数値は精査中のものです (1) 2023/1 月～12 月合計 21 件 (2) 無し (3) 合計：21 件 (4) ～ (8) 該当なし (9) サービスの通報機能において通報事由ごとの件数取得が困難であるため、対象の理由(偽・誤情報)に限った通報件数の算出が不可。 (10) 合計：10 件 (11) 直近の対応としては平均 2.9 分程度で対応。 ※偽情報のみを切り出した算出は不可のため、全ての申告から削除までの時間で算出しています。 (12) ～ (20) 該当なし 【LINE VROOM】※数値は精査中のものです (1) 2023/1 月～12 月合計 5 件程度 (2) 0 件 偽情報等に関しては、現状、AI を活用し			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	たコンテンツモデレーションは導入していません。 (3) 0件 偽情報等に関しては、現状、AI を活用したコンテンツモデレーションは導入していません。 (4) 偽情報等に関しては、現状、AI を活用したコンテンツモデレーションは導入していません。 (5) 偽情報等に関しては、現状、AI を活用したコンテンツモデレーションは導入していません。 (6) ～ (8) 該当なし (9) 2023 年 1 月～12 月までのお問い合わせ 偽情報・誤情報：14 件 └そのうちユーザー間トラブル※：14 件 ※下記のようなユーザー間で偽情報を謳うやりとり ・ LINEvroom の投稿でもう自分は消してますが自分の投稿で使った画像が使われてて嘘の情報が流れています ・ 悪口を叩かれデマも流されています。 ・ 当方の名前を虚偽のコメントに使われる ・ アカウント自体がまず私のなりすましです (10) 2023 年 1 月～12 月までのお問い合わせ 偽情報・誤情報：1 件 └そのうちユーザー間トラブル※：1 件 ※下記のようなユーザー間で偽情報を謳うやりとり ・ LINEvroom の投稿でもう自分は消してますが自分の投稿で使った画像が使われてて嘘の情報が流れています ・ 悪口を叩かれデマも流されています。			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	・ 当方の名前を虚偽のコメントに使われる ・ アカウント自体がまず私のなりすましです (11) 10 分程度 ※申告理由を問わずすべての申告の受付から削除時間の平均 (12) 不服の申し立ては発生していない。 もし、不服申し立ての問い合わせが発生した場合は、「いつ、どのような内容を投稿して、削除されたのか」など情報を伺ったうえで、履歴の確認のための調査依頼を上げる形になる想定。 (13) 該当なし (14) 問い合わせ窓口以外の導線なし (15) 0 件 (16) ～ (20) 該当なし			
Q 6－2 Q 6－1 で御回答頂いた数字について、いわゆる透明性レポート等の形で公開している場合は、その方法（※）と頻度（例えば、年 1 回など）を御教示下さい。 ※ オンライン上で公開している場合は URL を付記下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄】 ・ メディア透明性レポートにて「3. 偽情報対策の取組」を紹介していますが、偽情報であることを理由とするモデレーション件数は公表しておりません。 【Yahoo!知恵袋】 ・ メディア透明性レポートにて「3. 偽情報対策の取組」を紹介していますが、偽情報であることを理由とするモデレーション件数は公表しておりません。 【LINE オープンチャット】 ※数値は精査中のものです (1) 2023/1 月～12 月合計 21 件 (2) 無し (3) 合計：21 件 (4) ～ (8) 該当なし (9) サービスの通報機能において通報事由ごとの件数取得が困難であるため、対象の理由(偽・誤情報)に限った通報件数の算	公開しておりません。	はてなブックマークについて透明性レポートを 3 ヶ月に 1 度公開していますが、偽・誤情報のみを独立した形で集計することは今後も難しいと考えています。	—

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	出が不可。 (10) 合計 : 10 件 (11) 直近の対応としては平均 2.9 分程度で対応。 ※偽情報のみを切り出した算出は不可のため、全ての申告から削除までの時間で算出しています。 (12) ~ (20) 該当なし 【LINE オープンチャット】 ・透明性レポートについては以下のページで公開しています。ただし、現時点で 2023 年のデータは公開されていない、かつこちらのデータについてはオープンチャット単独ではなく LINE 全サービスとしての数字になります。 https://linecorp.com/ja/security/moderation/2022h1 【LINE VOOM】 ・透明性レポートについては以下のページで公開しています。ただし、現時点で 2023 年のデータは公開されていない、かつこちらのデータについては LINE VOOM 単独ではなく LINE 全サービスとしての数字になります。 https://linecorp.com/ja/security/moderation/2022h1			
7 令和 6 年能登半島地震関連の偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について				
Q 7 - 1 2024 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組状況を御教示下さい。特に、現時点までにモデレーション等を実施した主なコンテンツとモデレーション等の方法別 (Q 3 - 1 (3) 参照) 件数を御教示下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点) 削除件数 : 1/1 ~ 1/31 15 時まで 累計 4 件 アカウント停止等件数 : 1/1 ~ 1/31 15 時まで 累計 0 件 【Yahoo! 知恵袋】※数値は精査中のものです		災害発生後、目視にて確認をしましたが、偽・誤情報の拡散が確認できなかったため特に対応を行なっていません。	特に行っていないが必要と判断すれば検討・実施していく

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	す (1/31 15:00 時点) 削除件数：1/1～1/31 15 時まで 累計 914 件 (質問：449 件、回答：465 件 ※削除理由：不謹慎など 914 件) ※地震関連の投稿を起因とするものに限らず、アカウント停止の状況についてはメディア透明性レポートをご覧ください。 【ファイナンス掲示板】※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点) 削除件数：1/1～1/31 15 時まで 累計 7 件 アカウント停止等件数：1/1～1/31 15 時まで 累計 0 件 【LINE オープンチャット】※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点) 削除・非表示件数：1/1～1/31 15 時まで 累計 735 件 アカウント停止等件数：1/1～1/31 15 時まで 累計 51 件 【LINE VROOM】※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点) 削除・非表示件数：1/1 以降の累計 161 件 アカウント停止等件数：1/1 以降の累計 0 件			
Q 7－2 令和 6 年能登半島地震に関連するコンテンツのうち、その内容が誤りであるとするファクトチェック機関のファクトチェック記事が存在するコンテンツについて、Q 7－1 で御回答頂いた件数に含まれる場合は、当該件数を御教示下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】 該当はありません。 【Yahoo! 知恵袋】 該当はありません。 【ファイナンス掲示板】		同上	実施していない

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	該当はありません。 【LINE オープンチャット】※数値は精査中のものです Q7 - 3 の以下ご回答との関係で、57 件投稿削除しております。 能登半島地震発生以降、「この地震は人工的に引き起こされた人工地震である」といった情報が拡散されたが、これを虚偽として削除対象とする根拠として、JFC の日本ファクトチェックセンター (https://www.factcheckcenter.jp/) で明確に誤りとされていることを採用しました。 【LINE VOOM】※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点) 161 件 (完全にファクトチェック機関のファクトチェック結果にマッチしないものも含む)			
Q 7 - 3 令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応として、上記 4 及び 5 にて御回答頂いた回答と比べて体制を強化した場合は、強化した内容を御教示下さい。 ※ 例えば、対行政機関窓口の設置、モデレーション等を担当する人員の増強など。	【Yahoo! ニュースコメント欄】 CS での施策として、震災関連ニュースのパトロール（モニタリング）を強化 Yahoo! ニュース コメント欄について、注意喚起文言を掲載 ----- 【文言】能登半島地震に関する誤情報に注意を 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください 【リンク先】能登地震・災害特設ページ内、誤情報の欄 https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a#a_fakenews 【期間】1/7(日)～		既存人員で対応が可能でした	強化していない

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	----- 【Yahoo!知恵袋】 GS での施策として、震災関連のトピックの パトロール（モニタリング）を強化 知恵袋トップページに注意喚起文言を掲 載（1/9～）。 https://chiebukuro.yahoo.co.jp/ ----- 【文言】 能登半島地震に関する誤情報にご注意を 2024 年 1 月 9 日 1 月 1 日に発生した能登半島地震に関し、 不正確なうわさや情報に惑わされることの ないよう、公共機関や報道機関等の情報を 確認するなど十分注意をしてください。 能登半島地震 最新情報まとめ また、Yahoo!知恵袋では偽情報の拡散や詐 欺等違法行為は禁止しています。 投稿時は改めて利用のルールをご確認いた だき、禁止事項に該当する投稿は削除の対 象となりますので、ご理解の上、Yahoo!知 恵袋をご利用いただけますようお願いいた します。 【リンク先】 能登地震・災害特設ページ https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a 【期間】 1/9(火)～ ----- 【ファイナンス掲示板】 GS での施策として、震災関連トピックのパ トロール（モニタリング）を強化			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	Yahoo! ファイナンスアプリ (iOS 版・Android 版) に注意喚起文言を掲載 (1/9 ~) ----- 【文言】 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください。 また、掲示板では偽情報の拡散や詐欺等違法行為は禁止しています。 投稿時は改めてガイドラインをご確認いただき、重大なガイドライン違反を見かけた場合は違反報告をお願いいたします。 【ガイドライン】 メニュー>ヘルプ>【掲示板】禁止行為、投稿に注意が必要な内容について (ボタン) 能登半島地震 最新情報まとめ 【リンク先】 能登地震・災害特設ページ https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a 【期間】 1/9(火)~1/14 (日) 23:59 ----- Yahoo! ファイナンス掲示板 (PC 版 TOP) に掲載の注意喚起を掲載しています 掲載場所 URL https://finance.yahoo.co.jp/cm ----- 【文言】 能登半島地震に関する誤情報にご注意を 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください。 「能登半島地震 最新情報まとめ」 また、掲示板では偽情報の拡散や詐欺等違			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	法行為は禁止しています。投稿時は改めてガイドラインをご確認いただき、重大なガイドライン違反を見かけた場合は違反報告をお願いいたします。 「【掲示板】禁止行為、投稿に注意が必要な内容について」 【リンク先】 ① 能登地震・災害特設ページ内、誤情報の欄 https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a#_fakenews ② 掲示板利用規約 https://support.yahoo-net.jp/PccFinance/s/article/H000011273 【期間】 1/8(月)～1/31(水) 18:00 ----- 【LINE オープンチャット】 (1/9～) 誤情報、詐欺に関する注意喚起ページを公開 https://openchat-jp.line.me/other/misinformation_during_disasters 全てのユーザーのオープンチャットのトークルームを開いた際に1回だけポップアップで告知 管理者向けの情報ポータルやオープンチャット上で拡散実施 (1/12～) オープンチャットの総合トップページ経由の全体へのお知らせに注意喚起を掲載 https://notice2.line.me/SQUARE/web/document/notice?documentId=20231515&lang=			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	ja 能登半島地震発生以降、「この地震は人工的に引き起こされた人工地震である」といった情報が拡散されたが、これを虚偽として削除対象とする根拠として、日本ファクトチェックセンター (https://www.factcheckcenter.jp/) で明確に誤りとされていることを採用しました。 また、このような虚偽情報に関するコンテンツの削除基準としましては、以下のように定めて対応を行なっております。 ・「拡散希望」「拡散してください」など明示的に虚偽情報を拡散させようとする投稿 ・明示的な拡散についての表現がなくても、その説を強く信じ込み、他者に対してもそれを信じさせようとする意図が感じられる投稿 ・「人工地震」というキーワードを一切投稿できないようにするといった対応も可能ではあるが、そうした情報に関する自由な議論を妨げ、表現の自由に反する恐れがあるため、キーワードを一律削除のような対応は行わない。 【LINE VOOM】 人工地震と断定し流布するような投稿や募金を募る行為について、利用規約やガイドラインに照らして違反行為と認められた場合には、非表示とする措置とする対応をすることとしました。 【LINE NEWS】 「令和 6 年能登半島地震」最新情報まとめのページを作成し、「SNS でのデマや詐欺に			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	ご注意」の項目で注意喚起を行いました。 https://news.line.me/detail/linenews/n4v8bonw0ppc 【トピックスサービス等】 SNS の偽情報に対しては、警鐘を鳴らすトピックスや図解を掲載しました。 例えば、被災者を装ったものや避難に関する偽情報、偽の救助要請など、さまざまな偽情報に関して注意を呼び掛けるトピックスや、騙されないようにするためのチェックポイントなどを記載した図解などを掲載しました。図解は、総務省や東京都のコンテンツなどを引用して制作しています。 ※補足：図解は総務省や東京都の他、青森県、ソフトバンクのコンテンツも引用しています。 ・発生直後から「能登半島地震 最新情報まとめ」の特設ページを設置し、その中で「デマ・誤情報に注意」のコンテンツを用意した。その中で総務省のフェイクニュース啓発のサイトへリンクを設置 「能登半島地震 最新情報まとめ」サイト URL:https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a ・地震関連のデマについて打ち消しのトピックスを作成 能登地震 虚偽情報の拡散に注意(1/2) 「息子挟まれた」SNS に虚偽投稿(1/2) 迫る 72 時間 デマ拡散「命関わる」(1/4) 偽の救助要請 閲覧数稼ぐ狙いか(1/5) 被災者装いデマ投稿 法的問題は(1/5) 2 次避難の偽情報 首相が注意喚起(1/13) 災害デマ拡散 背景にインプ稼ぎも(1/19) 地震巡る偽情報判別へ 開発支援 (1/24)			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	・2/1に「災害時の情報との向き合い方」の特設ページを公開しました 「災害時の情報との向き合い方」サイト URL : https://news.yahoo.co.jp/pages/20240131 【Yahoo!ニュース（本体）】 Yahoo!ニュース（天気災害）において、総務省・東京都防災ホームページ上の情報をもとに災害時・SNSの情報に騙されないために必要な事項についてX（旧 Twitter）上にて注意喚起を行っています。 【Yahoo!ニュース エキスパート】 ・震災発生直後から、専門家やジャーナリストによる偽・誤情報への注意喚起、啓発の記事が公開されました。 例） X 課金時代に初めて体験する大地震。閲覧数目当てのデマに注意（1/1 公開） https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c2bcedf4dc1bb73ebd21795ee28915ab5346e40f 能登半島地震 決して許してはいけない災害便乗の悪質商法 どんな備えをしておくべきか（1/5 公開） https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/bae3d7dc043ba3236a3028c2c05f810c8b4c5bb6 ・また、偽情報対策に限りませんが、専門家による執筆記事を、わかりやすい図解とともに上記災害まとめページで紹介しまし			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	た。 例) 台風・浸水時に役立つ携帯トイレの使い方 https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6a9eedb99b60e892af957d1b12dde93e49efb228X 課金時代に初めて体験する大地震。閲覧数目当てのデマに注意 (1/1 21:22 公開 いち早く X のデマ投稿に対して注意喚起を行いました) https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c2bcedf4dc1bb73ebd21795ee28915ab5346e40f 能登半島地震 決して許してはいけない災害便乗の悪質商法 どんな備えをしておくべきか (1/5 専門家によって災害時の詐欺情報等をまとめた記事) https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/bae3d7dc043ba3236a3028c2c05f810c8b4c5bb6 ・偽情報対策に限らないが、専門家による執筆記事を、わかりやすい図解とともに上記災害まとめページで紹介しました。 例) 台風・浸水時に役立つ携帯トイレの使い方 https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6a9eedb99b60e892af957d1b12dde93e49efb228 参考) Yahoo!ニュース エキスパートにつ			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	いて https://support.yahoo-net.jp/ScnNews/s/article/H000011258 8月1日に「Yahoo!ニュース エキスパート」が誕生します（※2023年8月リニューアル）。 https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/ynews_expert_info.html 「>クリエイター」のほか、Yahoo!ニュース個人（以下、「ニュース個人」）の書き手である「オーサー」「コメンテーター」総勢約2600名が「Yahoo!ニュース エキスパート」に参加。それぞれの強みをかけあわせて強化することで、各分野のエキスパートたちが集う国内最大級のプラットフォームとして発信力を高めていきます。			
Q7-4 令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、他の事業者、ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体又は日本の行政機関（※）との間で情報共有等の連携を実施している場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、内閣府（防災担当）、警察庁など。			特にありません	実施していない
Q7-5 地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、今後（さらに）体制を強化する予定・余地があれば、強化する内容を御教示下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄】 地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。		現状では不要であると考えています	強化する予定は特にない

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	【Yahoo!知恵袋】 地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。 【ファイナンス掲示板】 地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。 【LINE オープンチャット】 地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。 【LINE VOOM】 地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファ			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	クトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。 【Yahoo!ニュース（本体）】 今回に限らず、SNS の偽情報に対して、Yahoo!ニュース トピックス等で都度、偽情報の打ち消しや正しい情報の伝達、なぜこういう偽情報が出回るのか、注意点や対策、また被害者の声などの掲載を通して、偽情報対応にあたっています。 引き続き、あらゆる機会を捉えてユーザーに対し日ごろから警鐘を鳴らすなど、啓蒙啓発やユーザーのリテラシー向上に向けた取り組みを行っていきます。 また、「信頼される情報空間」のあり方を検討するため、有識者からご意見を伺いながら、その論点を自社オウンドメディア「newsHACK」で公開しています。 参考） 「情報的健康」提唱者に Yahoo! ニュースはどう映っているのか https://news.yahoo.co.jp/newshack/media_watch/news_informationhealth.html			
Q 7－6 地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。 【Yahoo!知恵袋】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急	Q 4－3 などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を判断するのは困難なため、コンテンツの削除や表示順位の降格等のモデレーションは行っていません。 そのため、現時点で、令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組は行っておりません。 なお、他社 SNS 上で見受けられた誤情報の拡散と思わしき投稿（住所を記載し、「生き埋めになっている」として救助を求める投稿）については当社への投稿では確認されていません。	今回は偽・誤情報が拡散されるということがありませんでしたが、政府としての公式情報をワンストップで確認できるページの URL があれば、災害に関する言及があるページに自動的にその URL への誘導枠を設置するなど、正しい情報への誘導がしやすくなると思います	スパムであることを理由にして記事の削除をすることは比較的容易だが、偽・誤情報であることを理由に記事を削除することが難しい。理由として大きいのは記事のファクトチェック能力を有していないことと投稿される記事の件数が膨大であること。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。 【ファイナンス掲示板】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。 【LINE オープンチャット】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。 【LINE VOOM】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。			
8 レコメンドやモデレーション等に関する透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について				
Q 8－1 対象偽・誤情報を含む対象サービス上で表示される日本語のコンテンツについて、アルゴリズムを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定している場合、当	【Yahoo! ニュースコメント欄】 ・不適切投稿判定モデル・関連度モデル： https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ ・建設的コメント順位づけモデル：	Q 4－3 などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を判断するのは困難なため、Q 3－1（3）に記載した注意喚起の対応以外に、偽・誤情報へのモデレーション等の対応は行っておりません。	はてなブックマークの注目コメント選定において、LINE ヤフー株式会社の提供する建設的コメント順位付けモデル API を社内独自のアルゴリズムと併用して利用していますが、詳しいパラメータや決定過程につい	規約違反と思われる不適切なキーワードを含む記事やコメントの抽出規約違反と思われる不適切な画像の抽出 (過去の違反データを数値化し近似している画層を抽出し目視)

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。	https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2019/pdf_dir/P7-33.pdf ・コメント多様化モデル： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/ ※なお、非公開で研究機関や研究者に対して開示を行っている実績はありません。 【Yahoo!知恵袋】 ・違反投稿判定モデルの判定精度向上のための取り組みを行っています。 メディア透明性レポート（2022 年度版）p30： https://about.yahoo.co.jp/common/transparencyreport/ 【ファイナンス掲示板】 ・投稿削除、表示順位の決定に用いている AI はありません。 ・（削除について、一部、機械的な NG ワードでの投稿制御はあり）広告や LINE 登録を促す投稿については機械学習を用いたスコア付けを実施、違反投稿であれば人的チェックにより削除、外部公開しておりません。 ※非公開で研究機関や研究者に対して提供している実績はありません。 【LINE オープンチャット】 ・投稿削除、表示順位の決定などコンテンツモデレーションに用いられる AI は偽・誤情報には適用されていませんが、わけつけ、不快画像の判定については AI 画像フィルターが使われ、自動削除が行われており、その事実については対外的にも公開しております。		ては逆用されることを防ぐため非公開としています。	

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	※AI 画像フィルターについては、以下リンクの「審査、パトロールの実施」中「パトロール・プラットフォーム」でもご説明しています。 https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/esg/social/service-satisfaction/ 【LINE VOOM】 公表しておりません。			
Q 8 - 2 Q 8 - 1 で御回答頂いたパラメータを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定していることについて、既に公開している規約等の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURL を付記して、該当箇所を抜粋下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】 ・「大規模深層学習モデルによる Yahoo! ニュース「不適切コメント」対策」(Yahoo! JAPAN Tech Blog) : https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ 【LINE VOOM】 公表しておりません。	Q 8 - 1 と同様	アルゴリズムを逆用した掲載内容・順位の操作を避けるため、アルゴリズムの詳細は公開しておりません。かわりに、アルゴリズムを設計・運用する上で遵守しているポリシーを以下にご紹介します。として、評価基準を公表しています。 https://b.hatena.ne.jp/guide/guideline#adjusting-display-order-with-algorithms	
Q 8 - 3 対象サービス上で表示される日本語のコンテンツ（広告を含みます）について、アルゴリズムを用いて表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。	【Yahoo! ニュースコメント欄】 Yahoo! ニュースコメント欄として保有している AI モデルは Q8-1 で回答した 3 つがあります。アルゴリズム等の詳細につきましては、下記ページをご参照ください。 （再掲） ・不適切投稿判定モデル・関連度モデル : https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ ・建設的コメント順位づけモデル : https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2019/pdf_dir/P7-33.pdf ・コメント多様化モデル : https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/	広告以外のコンテンツのレコメンドについては、ユーザー自身で登録された属性情報、視聴履歴、サイト内検索履歴、その他アクション履歴(コメント・お気に入り登録・いいね等)、コンテンツそのものの情報(動画・生放送・イラストタイトルやタグやコンテンツ内容)を用いて、クリック率やその後の視聴時間最適化や投稿者に対する視聴者への掲出マッチングを行います。 投稿者側・視聴者側双方が満足を得られるようにするため、複数のアルゴリズムによるレコメンドエンジンの組み合わせを bandit アルゴリズム等を用いて動的に最適化を行っています。 なお、属性については、登録属性情報と推	はてなブックマークコメントには、注目コメントを優先的に別タブで表示する仕組みがありますが、そのタブに掲載されるコメントを選定する際に使われています。	説明していません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	【LINE VOOM】 公表していません。 【Yahoo!検索】 Yahoo!検索において、検索結果に表示される順は、ウェブページのテキスト、タイトル、説明文、関連リンク、ページの特徴などを分析に基づき、検索キーワードに対する関連性が高い順に表示しています。この順序はYahoo!検索が利用している検索エンジン用ロボット独自のデータやアルゴリズムに基づくもので、詳細は非公開としています。 【LINE NEWS】 ユーザーから許諾を得た上で提供された情報をもとに、そのユーザーが「興味があると推測される情報」「そのユーザーにマッチすると思われるコンテンツ」をAIが導き出し、自動で記事を選定・掲出しています。「ユーザーごとにあった情報」を掲出することで、大衆性の強い情報(センセーショナルな情報、ゴシップ記事など)だけでなく、ニッチな情報や専門性の高い情報も、様々な消費者に提供する仕組みを導入しています。	定による属性情報があり、広告は登録属性情報のほか推定された属性情報を利用することがあります。 法人による広告出稿については、当社および「Cookie等の利用に関するガイドライン(https://dwango.co.jp/terms/cookie/)」に掲載のアドテクノロジーシステムと組み合わせる形で対象サービス上に広告を配信しております。		
Q8-4 Q8-3で御回答頂いたパラメータを用いてコンテンツの表示先や表示順位等のレコメンドの可否・内容を自動的に決定していることにつき、既に公開している規約等で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記し、該当箇所を抜粋下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄】 以下のページ上において公開しております。 ・「コメント欄の「おすすめ順」で多様な意見が上位に表示されやすくなる機能の導入について」(オウンドメディア): https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/comment_20230418.html ・「コメント欄においてより多様な意見が	・個人情報基本保護方針(https://dwango.co.jp/terms/privacy/)について 弊社が提供するサービスについては、各サービスから上記の「個人情報基本保護方針」を参照するようにしています。 本方針にて、「お客様がサービス上で目にする広告やコンテンツをそれぞれのお客様向けにカスタマイズするなど(第三者のサ	アルゴリズムによる表示調整については、はてなブックマークのガイドライン https://b.hatena.ne.jp/guide/guideline#adjusting-display-order-with-algorithms にて明示しています。 また、利用規約第9条 (https://policies.hatena.ne.jp/rule#rule09) では、「当社は、本サービスを監視	①使用しているパラメータ ■コンテンツのデータとして使っているもの ブログジャンル ブログカテゴリ ブログのフォロー数 ブログの投稿記事数 ブログviewランキング ブログのview数

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	上位に表示されやすくなる独自 AI「コメント多様化モデル」の導入を開始」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/ 【LINE VOOM】 公表しておりません。 【Yahoo!検索】 Yahoo!検索ヘルプにおいて公開しています。 https://support.yahoo-net.jp/PccSearch/s/article/H000007974 ----- 検索結果に表示される順は、ウェブページのテキスト、タイトル、説明文、関連リンク、ページの特徴などを分析に基づき、検索キーワード対する関連性が高い順に表示しています。この順序は Yahoo!検索が利用している検索エンジン用ロボット独自のデータやアルゴリズムに基づくもので、詳細は非公開とさせていただいております。 なお、公平なサービスを提供するため、表示順を故意に変更するなどの操作は、有料・無料にかかわらず一切行っておりません。また、表示順そのほかの事項については、Yahoo!検索のシステムの変更などの理由で、予告なく変更される可能性があります。 ----- 【LINE NEWS】 ・LINE NEWS のトップ面は 1 億通り、AI で実現した「ニュースの個人化」 https://note.com/linenews/n/n6f01e4d81	ービス上で目にする本サービスに関する広告やコンテンツをそれぞれのお客様向けにカスタマイズして表示することを含みます。）、利便性を向上するため」と説明しています。 ・ニコニコ全体の利用規約 （https://account.nicovideo.jp/rules/account）での定めについて 「利用者によるアカウント情報の登録、登録したアカウント情報に基づく各個別サービスの利用に際して運営会社が取得する個人情報の取扱いについては、「個人情報保護基本方針」の内容に従うものとし、利用者はこれに同意した上でニコニコを利用するものとします。」と規定しています。 ・ニコニコ動画の投稿コンテンツの利用について ニコニコ動画投稿規約 （https://www.upload.nicovideo.jp/rule）にて以下のように規定しています。 2. 運営会社による投稿コンテンツの利用 利用者は、投稿コンテンツをアップロードすることにより、運営会社（「ニコニコ」を運営する株式会社ドワンゴ及びその子会社を含みます。以下本条において同様です）に対し、投稿コンテンツを自由に利用できる世界的、非独占的、無償、サブライセンス可能かつ譲渡可能な許諾ライセンス（以下、「本ライセンス」といいます）を付与するものとします。 ・ニコニコ生放送の放送コンテンツ及び投稿コメントの利用について ニコニコ生放送利用規約	する義務を負いませんが、本規約に反する、あるいはそのおそれがある行為や情報開示がある場合には、当該情報の削除や掲載場所の移動、外部サイトのクローラー巡回対象からの除外、および当該行為を行った登録ユーザーの登録取り消しなどを行う場合があります。」と定めており、不適切な情報発信に対するレコメンド順位の変化は「掲載場所の異動」に相当するものとして取り扱っています。	記事の email 記載数 記事の記号 記載数 記事の外部リンク記載数 記事内の画像添付数 記事の Candidate Generator 記事本文のテキストの長さ 記事本文のタイトルの長さ 記事ベクトル 記事コンテンツスコア 記事キーワード 記事のハッシュタグ ■ユーザーのデータとして使っているもの 閲覧ジャンル 閲覧記事スコア (CG スコア) 記事 inview 数 記事 click 数 アプリ利用日数 ユーザベクトル ユーザキーワード フォロー情報 「いいね」情報 ブロガーのプリファレンス ②当該決定過程 - 以下の 4 つのロジックによって候補記事を選定 ①いいねやフォローを元に対象ユーザーと類似のユーザーを出し、その類似ユーザーに人気の記事を出す ②過去に読んだ記事に含まれるキーワードやハッシュタグと関連する kw や ht が含まれる記事を出す ③過去に読んだブロガーの中でまだ読んでいない記事を出す ④ユーザーの嗜好性がわからないようなケースで比較的質の高いコンテンツを出す - 上記で出てきた候補記事の優先順位を

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	ccb 【Yahoo!ニュース（本体）】 ・Yahoo!ニュース 運営方針（コンテンツと掲載面＞2. タイムライン） https://news.yahoo.co.jp/info/news-operation-policy#section2-2	（https://site.live.nicovideo.jp/rule.html） にて以下のように規定しています。 6. 権利の帰属 （3）（略）配信者は、生放送を実施することにより、運営会社（「ニコニコ」を運営する株式会社ドワンゴ及びその子会社を含みます。以下本条において同様です）に対して、配信コンテンツを自由に利用できる世界的、非独占的、無償、サブライセンス可能かつ譲渡可能な許諾ライセンス（ニコ生ゲームの二次創作をするために必要な改変、編集等を含み、以下、「本ライセンス」といいます）を付与するものとします。 （6）（略）利用者が配信コンテンツに対して単に感想等を書き込んだテキストの取り扱いについては、ニコニコ規約第4項の規定が適用されるものとします。 ※ニコニコ規約第4項 「ニコニコ」における利用者の書き込みテキストに関する著作権については、利用者が書き込みをした時点においてその一切が運営会社に譲渡されるものとします（著作権法27条及び28条に規定される権利も運営会社に譲渡されます）。ただし、運営会社は、当該テキストについて、書き込みを行った利用者自身が利用することを許諾するものとします。利用者は、当該テキストに関して、運営会社及び運営会社が指定する者に対して、いかなる権利（著作権者人格権を含みます）の主張及び行使も行わないものとします。 ・法人広告におけるレコメンドの要否につ		「リランク」と呼ばれる処理によって決定→質の低い記事（偽情報を含む）はこの時点で候補から除外される

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
		いて Cookie 等ガイドライン (https://dwango.co.jp/terms/cookie/) から可否を設定可能なようにオプトアウトリンクを表示しています。		
Q 8－5 Q 8－1 及び 8－3 のアルゴリズムについて、透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組の一環として、特定の第三者（※1）に対して特定の目的（※2）で開示している場合、当該第三者の名称又は類型その他の詳細（※3）を御教示下さい。 ※1 例えば、秘密保持契約を締結した研究機関や研究者など。 ※2 例えば、透明性・アカウントビリティ確保状況に関する監視・研究目的など。 ※3 例えば、開示目的、開示に至った経緯など。	【Yahoo!ニュース（本体）】 ・偽・誤情報のモデレーションを目的とした AI ではありませんが、2020 年から以下の取り組みを行っています。 「Yahoo!ニュース、不適切コメントへの対策として導入している深層学習を用いた自然言語処理モデル（AI）の API を無償提供開始」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2020/09/18a/ 【Yahoo!知恵袋】 データを提供しているケースはありますが、モデル等を研究機関等へ開示を行っているケースはありません。 【LINE VOOM】 該当はありません。 【Yahoo!検索】 該当はありません。 【LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）】 該当はありません。	アルゴリズムの第三者への開示は行っておりません。	現在のところ開示していません。	開示していません
Q 8－6 Q 8－4 で既に開示しているか否かにかかわらず、Q 8－1 及び 8－3 のアルゴリズムについて、今後、特定の第三者に対して特定の目的で開示することの可否・継続性に関するお考えがあれば、お聞かせ下さい。	【Yahoo!ニュースコメント欄】 ・偽・誤情報のモデレーションを目的とした AI ではありませんが、2020 年から以下の取り組みを行っています。 「Yahoo!ニュース、不適切コメントへの対策として導入している深層学習を用いた自然言語処理モデル（AI）の API を無償提供開始」（プレスリリース）：	【ニコニコ動画、ニコニコ生放送】 動的に複数のレコメンドアルゴリズムを組み合わせている仕様上、全体の説明が難しいと考えておりますが、レコメンドに使用している要素の列挙というレベルで公開可能性はございます。 【法人広告】	現在、一部通報状況や、監視によるスパム行為の取締について はてなブックマーク 透明性レポートを公開しています。 https://bookmark.hatenastaff.com/entry/2023/12/26/160000 今後、このような形で情報公開はすすめていきたいと考えています。	必要に応じて開示を行う可能性はあります。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2020/09/18a/ 【LINE VOOM】 特にありません。 【Yahoo!検索】 該当はありません。 【LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）】 特にありません。	法人広告として配信される広告はネットワーク広告と純広告の２種類があり、ネットワーク広告に関してはネットワーク広告事業者側が配信アルゴリズムを持っており、ドワンゴとして開示できる情報ではありません。 また、もう一方の純広告に関してはドワンゴの配信アルゴリズムによって配信されていますが、配信前の審査をドワンゴのポリシーに沿って行った上で審査をしているため、偽・誤情報の拡散を防ぐために特定の第三者に開示する必要はないと考えています。		
9 広告エコシステムの透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について				
Q9-1 対象サービスのうち、広告収入を主たる運営基盤としているものについて、日本に関するコンテンツの発信者（投稿者）へ広告収入の分配を行っている場合、分配の基準を御教示下さい。特に、コンテンツのPV数やいいね、リポスト等の拡散行為の対象となった数という定量的な基準以外の定性的な基準（※）や、災害発生時を含む有事において適用される特別な基準が存在する場合は、当該定性的な基準や特別な基準を具体的に御教示下さい。 ※ 例えば、コンテンツに偽・誤情報が含まれる場合には基準となるPV数等から除外する、そのようなコンテンツには広告を掲載しないなど。	・Yahoo!ニュースでは、PV だけでは測れない良質なコンテンツをユーザーに届けるため、パートナー（記事配信元）の皆さまとのエコシステムを強化しています。具体的には、既存の情報提供料に加えて、PV に連動しない情報提供料をお支払いする取り組み（「課題解決バリュープログラム」）を行っています。なお、災害発生時を含む有事において適用される特別な基準は存在しません。 ・LINE NEWS においては、アライアンスチームが信頼できる各種メディアと契約し、情報の正確さ・信頼性、その裏付けとなる取材体制について一定の担保がなされているほか、それらの良質な情報を提供するメディアに対して双方合意に基づいた最適な支払い契約を締結している。契約後においても、配信記事の当社ガイドラインに対するモニタリング、ファクトチェックも含む校正校閲等を実施し、良質な情報が配信されるよう取り組んでいます。 ・その他のサービスにおいては、発信者に対する広告収入の分配を行うことはありま	弊社サービスでは、ユーザーが投稿するコンテンツについて、「広告収入の分配」という形での収益化は行っておりません。 しかしながら、当サービスで、投稿コンテンツによって収益を得る方法として、「作品収入」という機能をご用意しています。これは、プレミアム会員（弊社サービスの月額会員）あるいは、本人確認書類の提出による本人確認手続きを行った一般会員が、投稿した各作品について「作品収入申請」を行い、第三者の権利を侵害していないか等のポリシーに則った審査を通った作品に対して奨励金を付与するシステムです。 本システムではプレミアム会員収入や企業広告収入等を原資にしており、作品の盛り上がり（作品の閲覧数やコメント数等によって算出）や、対象作品で贈られたギフト・ニコニ広告に応じて算出された金額を奨励金として分配しております。	弊社と利用者でのレベニューシェアに当たる仕組みは特にありません アフィリエイトの場合は、本人情報を登録いただいた上で、弊社基準により審査した登録者に限定されます。 PV 収益分配と同様、規約に基づき違反をしたブロガーは収益権利を剥奪します。	PV に基いて収益分配するブロガーは弊社基準による審査したオフィシャルブロガー・トップブロガーに限定されます。規約に基づき違反をしたブロガーは収益配分権利を剥奪します。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	せん。	審査の中で「第三者権利物の利用と思わしき内容」や「弊社の審査ポリシーに反すると思わしき内容」を確認した場合には、その作品の収益化は認められませんが、投稿者からの異議申立により問題がないと判断した場合には収益化が可能となります。 なお、Q 4－3 などで回答したように、当社では「掲載された情報の真偽」を判断するのは困難なため、「コンテンツに偽・誤情報が含まれるか否か」は、作品収入の審査基準に含まれておりません。		
Q 9－2 Q 9－1 で御回答頂いた内容を公開したり、普及啓発に向けた取組を実施したりしている場合は、その方法・内容（※）を御教示下さい。 ※ オンライン上で公開・普及啓発等している場合はURL を付記下さい。	Q9 - 1 でご回答した内容につきましては、以下のページ上で公開しております。 ・ニュース運営方針： https://news.yahoo.co.jp/info/news-operation-policy ・課題解決バリュープログラム： https://news.yahoo.co.jp/newshack/info/partners_conference_2016.html	上記でご説明した「作品収入」に関する内容は、以下のヘルプページで公開しています。 ▼作品収入とは https://qa.nicovideo.jp/faq/show/19563?site_domain=default ▼作品収入申請の条件と審査について https://qa.nicovideo.jp/faq/show/991?site_domain=default また、弊社サービスに投稿したコンテンツの収益化の方法については、下記のようなサイトでも案内しております。 https://site.nicovideo.jp/creator_platform/monetize/ https://site.nicovideo.jp/creator_platform/monetize/howto/	該当なし	アフィリエイトに関しては、スタッフブログ等で普及啓発
10 AI・ディープフェイク技術への対応状況について				
Q 10－1 上記4 で御回答頂いたもののほか、対象サービスに関連してAI システムを開発し、又は対象サービスにAI システムを組み込	現時点で、他社の生成AI を活用した当社のユーザー向けサービスの主な事例としては、以下がございます。 1. Yahoo!ニュース コメント欄の要約	ニコニコ動画、ニコニコ生放送では、コメント監視に機械学習（ディープラーニング）のシステムを導入しています。 投稿されたコメントに対し、不適切な内容	ブログ記事の内容に基づいたタイトルをAI で生成する機能を提供しています。	ヘルプページチャットボット（質問への自動回答）家事ラクAI（献立レシピ提案） ※その他あれば追記が必要

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
んで第三者に提供し、若しくは自ら利用している事例がある場合は、その概要を御教示下さい。	機能 ・Yahoo!ニュースコメント欄においては、生成 AI を利用したコメント欄の要約機能を試験提供。 参考：Yahoo!ニュース、コメント欄を生成 AI で要約する機能の試験提供を開始 LINE ヤフー株式会社 (lycorp.co.jp) https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/000915/ 2. LINE オープンチャットのトーク内容要約 ・ LINE オープンチャットでは、生成 AI を利用したトーク内容の要約機能を試験提供。 参考：LINE オープンチャット、トークルーム内のメッセージを生成 AI が要約する新機能の提供を開始 LINE ヤフー株式会社 (lycorp.co.jp) https://www.lycorp.co.jp/ja/news/release/000953/ 3. Yahoo!知恵袋の AI 回答機能 ・ Yahoo!知恵袋では、生成 AI (ChatGPT-4) を利用した回答機能を提供。 ・ 当該機能においては、生成 AI によるハルシネーション等のリスクがあることを想定し、正確性について注意喚起をしているほか、法律・医療などの専門的知識が必要とされるコンテンツへの提供はしていません。 参考：「AI 回答機能」の対象カテゴリが大幅に追加されました - Yahoo!知恵袋からのお知らせ https://chiebukuro.yahoo.co.jp/blog/2024/01/24-01.html	と思われるものの抽出、対応を自動で行ったり、人力目視を行う際のサポートを行っています。 また、ニコニコ生放送では、上記システムによるコメント出し分けの強弱設定をコンテンツ配信者が任意に選択できる「コメントフィルター」という機能をユーザーに提供しています。 本機能の詳細は以下のヘルプページをご参照ください。 ▼コメントフィルターとは https://qa.nicovideo.jp/faq/show/16017?site_domain=default		
Q 1 0 - 2	「AI 事業者ガイドライン案」については、	Q 1 0 - 1 で回答した AI システムは、「投	学習データが自身の投稿したブログ記事で	行っていません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
Q 1 0－1で御回答頂いたA I システムの開発・提供・利用に関し、総務省及び経済産業省が策定・公表した「A I 事業者ガイドライン案」(※1)において、「生成A I によって、内容が真実・公平であるかのように装った情報を誰でも作ることができるようになり、A I が生成した偽情報・誤情報・偏向情報が社会を不安定化・混乱させるリスクが高まっていることを認識した上で、必要な対策を講じる」ことが求められていることを受けて、何らかの対策(※2)を講じている場合は、その概要を御教示下さい。 ※1 A I 戦略会議第7回(2023年12月21日)資料1－3 https://www8.cao.go.jp/cstp/ai/ai_senryaku/7kai/13gaidorain.pdf ※2 例えば、生成A I が事実と異なることをもっともらしく回答する(ハルシネーション)リスクへの対策としての開発上の工夫、A I システム提供時におけるハルシネーションリスクに関する透明性・アカウントビリティ確保の取組(ユーザーへの情報開示等)、A I の学習過程を含む開発メンバーや提供先・利用者のリテラシー向上に向けた取組など。	現在パブリックコメント等で最終的な文言調整が実施されていると承知しておりますが、現時点で公表されているガイドライン案に記載の内容等も踏まえ、以下のような取組を実施しています。 1. 正確性の担保について注意喚起を実施(ニュースコメント欄・オープンチャット・知恵袋) 2. 法律・医療などの専門的知識が必要とされるコンテンツにおいて生成AI活用の対象から除外しています。(ニュースコメント欄・知恵袋) ➢ Yahoo!ニュースコメント欄においては、要約結果をユーザーが報告し、事後的に要約機能を停止できる仕組みを用意しています。 ➢ オープンチャット・知恵袋においては、違反申告の仕組みを用意し、パトロールによる削除の対象としています。 ➢ ユーザーが生成AIを利用して投稿を行う場合は、その旨を投稿上に明記するようガイドラインを制定しています。(知恵袋) 参考：生成AIを利用した投稿について - Yahoo!知恵袋からのお知らせ https://chiebukuro.yahoo.co.jp/blog/2023/06/28-02.html	稿されたコメントの検出」を行うに留まり、何らかの情報を生成しているものではなく、偽情報・誤情報・偏向情報の拡散リスクがあるものではないため、対策は行っておりません。	あるという機能の性格上、偽情報の生成に使われるリスクはほぼないと考えています	
Q 1 0－3 対象サービス上でA I が生成した日本に関するコンテンツが投稿された場合に、これを検知するツールや、投稿時のラベリングを投稿者に義務付ける規約等を導入している場合は、その詳細及び実効性担保に向けた工夫(もしあれば)を御教示下さい。	Q10-2 への回答に記載させて頂いた通り、現時点では、知恵袋において、ユーザーが生成AIを利用して投稿を行う場合は、その旨を投稿上に明記するようガイドラインの制定を行っております。その他のサービスにおいては現時点で特に活用は行っておりませんが、今後、必要に応じて随時検討してまいります。 参考：生成AIを利用した投稿について - Yahoo!知恵袋からのお知らせ	上記のようなツールや規約は導入しておりません。 なお、AIを利用した作品に対する当社の考え方は以下の記事で発信している通りです。 https://blog.nicovideo.jp/niconews/179219.html	特に導入していません	—

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
Q 1 0 - 4 以上御回答頂いたほか、対象サービス上で A I が生成した日本に関するコンテンツが投稿された場合に対応するため、他の A I 関連事業者（開発者・提供者・利用者）との間で連携・協力に向けた取組（※）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、情報共有、資金援助、共同開発その他の技術提携・実装など。	該当はありません。	現時点では、上記のような取組は行っておりません。	特に導入していません	行っていません
1 1 ファクトチェックの推進に向けた取組について				
Q 1 1 - 1 上記 4 及び 5 で御回答頂いたもののほか、日本国内に所在するファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体（※ 1）との間で連携・協力に向けた取組（※ 2）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 1 日本国内に向けたサービスを提供する等の活動をしているものを含みます。 ※ 2 例えば、情報共有、資金援助、ファクトチェックを容易にするツールの開発や技術提携・実装、人材育成・交流、対象サービス上でのコンテンツの優先的表示、イベントの共催・後援など。	・連携相談や活動内容の共有などについて FIJ と定期的な MTG を実施しています。 ・Disinformation 対策フォーラムの議論に参画し、産官学民の連携を実践しています。またファクトチェック支援団体である FIJ の活動に賛同し、寄付の実施や法人会員として支援連携しています。 ・加えて、日本ファクトチェックセンターの設立にあたって資金提供を行い、22 年 11 月からは制作されたファクトチェックコンテンツをヤフーニュースへ掲載しています。		特に導入していません	行っていません
Q 1 1 - 2 ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体との連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。		ファクトチェック機関との具体的な連携方法について特に情報がなく、どのように取り組めば良いのかが不明です。体制が少人数のため、協力内容によっては担当者を手配しづらいこともあります。	—
Q 1 1 - 3 その他、日本国内におけるファクトチェックの推進の観点から行っている具体的な取組（※）があれば、詳細御教示下さい。 ※ 例えば、ファクトチェックを容易にするツールの開発・提供、ファクトチェックを実施する人材の育成など。	・Yahoo! ニュース健診： https://news.yahoo.co.jp/kenshin/ ⇒2022 年 2 月に、ユーザーが偽情報や誤情報などの情報に惑わされず、ニュースを正しく理解するための学習コンテンツ「Yahoo! ニュース健診」を公開。のべ 10 万人の方にご参加いただいた。 (参考) “フェイクニュース” などの不確	現時点では、上記のような取組は行っていないため、大変恐縮ながら、Q 1 1 - 1 ～ 3 について回答できる内容はございません。	ユーザーによる自然発生的な対抗言論に期待しています	行っていません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	かな情報に惑わされず情報を正しく理解する力を身につけるための学習コンテンツ 「Yahoo!ニュース健診」の参加者数が、開始から約 2 カ月でのべ 10 万人を突破： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2022/04/27e/			
1 2 マスメディア（新聞・放送）との連携状況について				
Q 1 2 - 1 上記 4 及び 5 で御回答頂いたもののほか、日本国内に所在するマスメディア（新聞・放送）（※ 1）との間で連携・協力に向けた取組（※ 2）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 1 日本国内で活動しているものを含みます。 ※ 2 例えば、情報・ノウハウの共有、資金援助、人材交流、対象サービス上でのコンテンツの優先的表示、イベントの共催・後援など。	【LINE NEWS】 ・アライアンスを専門に行う組織を設置しており、日頃から各提携媒体様との連携は密にとっています。 ・特に影響の大きなメディアとは定期的に情報交換をしており、情報の信頼性に関する話題を取り上げることもあります。 ・アライアンスチームが信頼できる各種メディアと契約し、情報の正確さ・信頼性、その裏付けとなる取材体制について一定の担保がなされているほか、契約後においても、配信記事の当社ガイドラインに対するモニタリング、ファクトチェックも含む校正校閲等を実施しており、偽情報の掲載自体を抑止するよう取り組んでいます。 【Yahoo!ニュース（本体）】 信頼できる質の高い情報を増やしていくため、伝統的メディアやネットメディア等と連携体制を構築しています。 質の高い情報を増やすための施策は、以下の通りです。 ・適宜、媒体社の配信内容に関する審査を行なっており、ガイドライン等に照らして改善いただきたい点についてお伝えしています。 ・公共性・公益性が高いテーマ、社会課題について、媒体社とともに記事制作を行なっています。 ・ユーザーの課題解決に資するため、公共		特に連携は行なっていません	行っていない

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	性の高い情報をサービスの最も目立つ場所である Yahoo! ニューストピックスやトピックス詳細ページに掲載しています。 ・偽情報等の課題に限らないが、メディアの業界団体が一堂に会する「マスコミ倫理懇談会全国協議会」(2022 年 9 月)に参加し、「インターネット上の報道をめぐる諸課題を考える分科会」に発表者として参加しました。 ・偽情報等の課題に限らないが、メディア学会の秋季大会(2022 年 11 月)のワークショップに参加し、信頼される情報空間をつくるためのヤフーの取り組みを発表し、意見交換をしました。 ・マスコミ倫理懇談会等において、引き続き偽情報を含め近時の課題と対策等の情報共有、議論を行っています。			
Q 1 2 - 2 マスメディアとの連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。	現時点では、上記のような取組は行っていないため、大変恐縮ながら、Q 1 2 - 1、2 について回答できる内容はございません。	Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	—
1 3 利用者の ICT リテラシー向上に向けた取組について				
Q 1 3 - 1 日本国内に所在する教育機関・普及啓発機関や消費者団体・利用者団体(※1)との間で連携・協力に向けた取組(※2)を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※1 日本国内で活動しているものを含みます。 ※2 例えば、対象サービスの利用者の ICT リテラシー向上に関する定期的な意見交換、教育教材の共同開発、教育・普及啓発イベントの共催・後援など。	・「インターネット上でのコミュニケーション」と「対面のコミュニケーション」の違いを子どもたちに学んでもらうためのオリジナル情報モラル教材を開発するとともに、全国の学校や自治体に LINE が講師を派遣 するワークショップ授業・講演活動等を 2012 年より全国で開始し、これまでに累計で約 11,000 回以上実施しています(2020 年 1 月からは、コロナ禍の影響によりオンラインによる対応へ変更)。 2022 年は 1,062 回(2021 年 788 回)実施しました。 ・また、ウェブサイト上に LINE Safety Center -LINE の安心安全ガイド- (https://linecorp.com/ja/safety/index)	「安心ネットづくり促進協議会」への参加 https://www.good-net.jp/promotion-partner/partners/	安心協等の団体に加盟し、ICT 教育に係る取り組みに協力するなどは随時行なっています	行っていません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	を掲載し、禁止行為などのガイドを確認できるようにしていま す。 (https://linecorp.com/ja/safety/contributionStandard) ・このほか、2019 年 12 月に設立した LINE みらい財団において、教育工学や授業デザインを専門とする研究 者と共同で、独自の情報モラル教育教材の開発を行い、ウェブサイト (https://linemirai.org/ja/download/#b) で公開しています。 ・LINE みらい財団において（本項において以下同じ）、情報モラル・情報リテラシーの啓発活動の強化やネットトラブル防止を目的に、地方公共団体や専門家と協力しながら調査研究・教材作成等を行っています。 ・GIGA スクール構想の展開にあわせ、「情報モラル」と「情報活用」の育成や向上を図るため、2022 年 7 月、新たな活用型情報モラル教材「GIGA ワークブック」の汎用版を開発し、同年 9 月から、全国の小中学校で 活用いただけるよう無償提供を開始しています。(https://line-mirai.org/ja/events/detail/68) ・併せて、情報モラル育成目標など各自治体独自の要素を反映させた、「GIGA ワークブック」自治体オリジナル版も希望する自治体向けに無償提供しております。導入済みの自治体は以下のとおりです。(2023 年 1 月 現在) <導入自治体> ・神奈川県鎌倉市「GIGA ワークブックかまくら」 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyouiku-shidou/giga-workbook.html			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	・山梨県「GIGA ワークブックやまなし」 https://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku-kikaku/ictkyouiku.html ・兵庫県「ひょうご GIGA ワークブック」 http://www.hyogo-c.ed.jp/~kikaku-bo/morallink/index.html ・徳島県阿南市「GIGA ワークブックあなん」 https://www.city.anan.tokushima.jp/docs/2022102400029/ ・教材を導入いただいた自治体と連携し、学校現場での教材活用のサポートとして教員の方々へのオンライン研修（無償）も開始しております。 ・LINE みらい財団におけるユーザ啓発活動（GIGA ワークブック） 啓発教材（GIGA ワークブック）を導入することとした自治体（教育委員会）を通じて、地域内の全ての公立学校（小学校・中学校・高校）へ教材導入の推進を案内しています。 ⇒2022 年度 教材導入自治体（2023 年度も継続利用） 2 県（山梨県、兵庫県）、2 市（神奈川県鎌倉市、徳島県阿南市） ⇒2023 年度から教材導入することが確定している自治体 ※23 年 1 月現在 1 都 3 県（東京都、長野県、福岡県、宮崎県）、28 市町村 ・一般社団法人セーファーインターネット協会主催の「Disinformation 対策フォーラム」へ参加し、有効な対策について多様なプレイヤーと議論を行っている。 (参考) https://www.saferinternet.or.jp/anti-disinformation/ ・ファクトチェック・イニシアティブ			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	(FIJ) の活動に賛同し、寄付の実施・法人会員として 参加。偽情報・誤情報の検証結果を特設サイトからリンクするなどで連携している ・媒体社と連携し、ファクトチェック記事の配信を拡充する取り組みを行っている。 ・有識者とフェイクニュース対策について議論、対策コンテンツ制作の助言を受ける活動を実施。 ・大学と連携し、リテラシー教育授業を実施。			
Q 1 3 - 2 教育機関・普及啓発機関や消費者団体・利用者団体との連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	・学校現場には様々なニーズ（子供たちのネットトラブル回避に関する指導、GIGA スクールの端末の利活用など）があるものの、現実的には学びの時間の確保、教えることのできる 指導者の育成等がまだまだ追いついていないとの声が寄せられている。 【課題解決策の導入に際しての障害】 ・教材（GIGA ワークブック）の活用が、情報モラル教育などに積極的に取り組んでおられる指導者が存在する地域に限定されることなく、より多くの児童・青少年に対する学びの 接点を作るためには、自治体（教育委員会）との連携が必要不可欠であった。 ・このため、自治体（教育委員会）と連携し、学校現場への周知や指導者に向けての研修を 無償でサポートしている。	特にございません。	Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	—
Q 1 3 - 3 その他、日本国内における対象サービスの利用者の ICT リテラシー向上の観点から行っている具体的な取組（※）があれば、詳細御教示下さい。 ※ 例えば、教材作成、普及啓発活動など。	・総務省がセーフティーインターネットデーに合わせて公開したリテラシーコンテンツ紹介サイト「ネット&SNS よりよくつかって 未来をつくろう～ICT 活用リテラシー向上プロジェクト～」に協力しています。 https://www.ict-mirai.jp/	上記の他、ご紹介できる取組はございません。	サイト内「週間はてなブログ」での啓蒙記事の公開（例： https://blog.hatenablog.com/entry/2021/07/29/160000）や、コミュニティガイドライン （https://policies.hatena.ne.jp/community-guideline）として弊社の考える健	—

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
			全なコミュニティのあり方を発信するなど、自社サービス内での情報発信を行なっています。他社、他団体との協力については現時点ですすめている具体的な取り組みはありませんが、協力できることがあれば協力したいと考えています	
1 4 研究開発の推進に向けた取組について				
Q 1 4 - 1 上記 1 0 で御回答頂いたもののほか、対象サービスに関連して、日本国内に所在する研究機関・研究者・アカデミア（※ 1）との間で、特に認知科学、心理学、情報工学、計算社会科学、法学などの分野において連携・協力に向けた取組（※ 2）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 1 日本国内で活動しているものを含みます。 ※ 2 例えば、情報共有、資金援助、共同開発その他の技術提携・実装、イベントの共催・後援など。	【LINE NEWS】 ・研究者・官公庁・業界団体等とともに、偽情報等の流通状況や拡散の仕組みに係る分析や、プラットフォーム事業者に求められる偽情報等への対応に係る検討を行っています。 ・一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備（SMAJ）において、偽誤情報を含むソーシャルメディア上の諸課題に関する検討に参加しています。 ・上記のマルチステークホルダーによるプロジェクトに参加し、実態把握・分析・検討等に取り組んでいます。 ・2022 年 12 月、一般社団法人マスコミ倫理懇談会全国協議会の「ネット空間における倫理研究会」において、LINE NEWS における取組み（釣り見出し、コタツ記事、自殺報道）を発表しました。 【Yahoo!ニュース（本体）】 海外でのフェイクニュース事例・諸問題など外部シンクタンクに協力いただき分析調査を実施し、専門家よりインプットを得ています。 【Yahoo!知恵袋】 偽情報対策を含めた研究用データとして、知恵袋のデータベースからランダムサンプリングにより抽出した解決済みの質問（約 247 万件）と、それら各質問に対するすべ	①情報学研究データリポジトリへの協力 国立情報学研究所情報研究データリポジトリにて、ニコニコデータセットとしてニコニコ動画のコメントデータと動画メタデータ、ニコニコ大百科の記事データと掲示板データを研究目的として研究者向けに無償で提供しています。 https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/nico/ ②産業技術総合研究所への協力 ・「Songrium」に関する取組 産業技術総合研究所メディアインタラクション研究グループが、人々の音楽の聴き方をより豊かにすることを目的に、「Songrium (https://songrium.jp/)」の研究開発を行っています。 ドワンゴでは、以下のようなお知らせの掲出などにより、こういった取組のユーザー認知向上に協力しております。 https://blog.nicovideo.jp/niconews/211614.html ・コンテンツ視聴などの匿名化されたログデータ等の提供 産業技術総合研究所の技術・サービス等とニコニコが持つデータ・サービス等を活用した新機能の実用化や商用利用の実証実験のため、上記のようなデータを提供しています。 これにより、コンテンツの推薦 API 等の作	特に取り組みは行なっていません	ブログでは行っていません ピグパーティの場合は、「未成年事案に対するメディアの健全化」の取り組みを行っております。 専用の体制を立てて研究機関と連携して未然防止策の実施や、ユーザーの啓蒙などを行っております。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	ての回答約（約 649 万件）について、投稿者の Yahoo! JAPAN ID を暗号化するなど、個人を特定することができない情報に処理したうえで国立情報学研究所（NII）を通じて研究者に対し提供を行っています。 【その他（各サービス共通）】 「デジタル時代における民主主義を考える有識者会議」を開催し、デジタルプラットフォームが民主主義に及ぼす影響やデジタルプラットフォーム事業者に期待される役割等について、フェイクニュースなどの例をもとに検討を進める有識者会議を開催。構成員として、マスメディアの方から学者まで、幅広い分野の専門家をお招きし検討を行っています。 https://www.z-holdings.co.jp/pr/press-release/2021/0121/ 有識者とフェイクニュース対策について議論、対策コンテンツ制作の助言を受ける活動を実施しています。 「フェイクニュース」への備え～デマや不確かな情報に惑わされないために～ https://news.yahoo.co.jp/special/fake-news/ Yahoo! ニュース健診 https://news.yahoo.co.jp/kenshin/ 大学と連携し、フェイクニュースに対するリテラシー教育授業を実施。 22 年参院選に向けたリテラシー特集を制作。デマに惑わされないよう情報摂取の注意喚起コンテンツを提供。また有識者による解説動画を 3 本制作し公開。 「選挙の“フェイク”に備えるために～フィルターバブルと確証バイアス～」 https://www.youtube.com/watch?v=PxnxDgIn6nI&t=9s	成が行われています。 ③法学の分野における協力 2023 年、従業員の知人（経済産業省に所属しており、IPA に出向中の方）からの要請を受け、「web プラットフォームと肖像権」をテーマとした論文作成にあたり、「権利侵害による削除申請件数」等の情報を提供しました。 論文は東京大学先端科学技術研究センターに提出予定です。		

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	「情報偏食と吟味思考」 https://www.youtube.com/watch?v=BH5ErSvrirY 「ファクトチェックと情報リテラシー」 https://www.youtube.com/watch?v=WvzVXW0U6j4			
Q 1 4 - 2 研究機関・研究者・アカデミアとの連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	投稿データは個人情報に該当することから、外部の第三者にデータを提供することが困難な場合があります。	特にございません。	Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	—
Q 1 4 - 3 研究機関や研究者等向けに、対象サービス上の情報流通の状況に関する実データを A P I 等を通じて提供している場合は、提供先その他の詳細（※）を御教示下さい。 ※ 例えば、提供開始（予定）時期、対価の額等の提供条件など。	実施しておりません。実施しておりません。	Q14-1 と重複しますが、以下 2 点の提供を行っています。 ①情報学研究データリポジトリへの提供 国立情報学研究所情報研究データリポジトリにて、ニコニコデータセットとしてニコニコ動画のコメントデータと動画メタデータ、ニコニコ大百科の記事データと掲示板データを研究目的として研究者向けに無償で提供しています。 https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/nico/ ②産業技術総合研究所への提供 産業技術総合研究所の技術・サービス等とニコニコが持つデータ・サービス等を活用した新機能の実用化や商用利用の実証実験のため、コンテンツ視聴などの匿名化されたログデータ等を提供しています。	特にありません	行っていません
Q 1 4 - 4 Q 1 4 - 3 で提供していない場合において、過去に提供していたことがある場合は、提供先、提供期間及び提供を終了した理由を御教示下さい。	該当はありません。		特にありません	実績はありません
Q 1 4 - 5 Q 1 4 - 3 で提供していない場合（Q 1 4 - 4 の場合を含みます。）、将来的に提供を	現時点で具体的な予定はございませんが、状況に応じて検討いたします。		使用規約第 8 条で、コンテンツの学術利用については手当されており、 https://policies.hatena.ne.jp/rule#rul	予定はありません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
開始（再開）することの可否についてお考えをお聞かせ下さい。			e08 協力に対してはポジティブです	
Q 1 4－6 その他、対象サービスに関連した研究開発の推進の観点からの具体的な取組（※）があれば、詳細御教示下さい。 ※ 例えば、電子透かし技術の開発、ディープフェイク検知・対抗技術の開発、自動ファクトチェック技術の開発など。	UGC 機能における品質観点での AI 開発は引き続き実施してまいります。	・ニコニコ生放送で配信されたコンテンツに関連する情報の自動収集・提供に向けた取組 現状では配信内容についての情報収集をしておりませんが、将来的に、配信番組の音声認識や視聴者コメントの内容から、キーワードや主張内容を抽出し、その内容に対して適切な関連情報（内部データベースもしくは信頼できるドメインを対象にしたインターネット検索等による情報）を取得し、参考情報として提示するようなことができるのではないかと考え検討しています。 元々は「放送者への話題の自動提供（ネタ振り）」を目的として考えていましたが、上記のような形で信頼できる情報の提示を行うことができれば、偽・誤情報の拡散防止にも繋がるのではないかと考えております。	特にありませんが、将来的に何らかの取り組みができればと考えています	社内の研究組織にデータ提供の可能性はあります
1 5 サイバーセキュリティ関係機関等との連携について				
Q 1 5－1 サイバーセキュリティ関係機関（※1）との間で、対象サービスに関連して連携・協力に向けた取組（※2）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※1 日本国内に向けたサービスを提供する等の活動をしているものを含みます。 ※2 例えば、情報共有、資金援助、共同開発その他の技術提携・実装、イベントの共催・後援など。	以下のような団体へ会員として参加しています。 ・日本サイバー犯罪対策センター（JC3）：https://www.jc3.or.jp/about/ ・フィッシング対策協議会：https://member.antiphishing.jp/about_app/ 対象サービスに限らず、当社に関わるフィッシングサイト情報や、偽サイトを含む脅威情報の提供を受けています。 また、当社で発見したフィッシングサイト情報については協議会経由で JPCERT/CC へ共有を行い、サイト閉鎖に向けた対応を行っていただいています。		IPA から脆弱性情報の共有は受けていますが、偽情報対策という面において特に連携はしていません	フィッシングサイトの停止に関わる対応で、フィッシング対策協議会や JPCERT/CC にご協力頂いています。

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	その他、社内での調査、社内外からの CSIRT 窓口への通報により、当社に関連する SNS 等の偽アカウントの発見することもあり、偽・誤情報の流通・拡散への対応のため、停止に向けた措置を行うことがあります。			
Q 1 5 - 2 サイバーセキュリティ関係機関との連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。		Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	特にありません
Q 1 5 - 3 その他、対象サービス上の対象偽・誤情報の流通・拡散への対応として、サイバーセキュリティ対策との連携の観点から行っている具体的な取組（I S A C への参加など）があれば、詳細御教示下さい。	特にありません。	現時点では、上記のような取組は行っていないため、大変恐縮ながら、Q 1 5 - 1 ～ 3 について回答できる内容はございません。	特にありません	偽・誤情報の流通・拡散への対応に特化した取り組みではありませんが、CyberAgent CSIRT の活動として日本シーサート協議会、FIRST (Forum of Incident Response and Security Teams) に加入して情報収集をおこなっています。
1 6 行政機関や地方公共団体等との連携について				
Q 1 6 - 1 日本の行政機関や地方公共団体等との間で連携・協力に向けた取組（※）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、情報共有、対象サービス上でのコンテンツの優先的表示、イベントの共催・後援、官民連絡会議（米国における Global Internet Forum to Counter Terrorism (GIFST) や選挙の integrity に関するワーキンググループ（ https://perma.cc/JC5V-MARG ）に相当するものなど）の設置など。	・研究者・官公庁・業界団体等とともに、偽情報等の流通状況や拡散の仕組みに係る分析や、プラットフォーム事業者に求められる偽情報等への対応に係る検討を行っています。 ・総務省「ICT 活用のためのリテラシー向上に関する検討会」にオブザーバー参加し、事業者の事例を発表・共有を行っています。 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/ict_literacy/02ryutsu02_04000391.html	・テロ等に関連するインターネット悪用事例に関する情報交換（GIFCT ワークショップ参加） ・違法・有害情報相談センターの「青少年案件情報提供スキーム」に基づく対応 https://ihaho.jp/aboutus/actions.html	特にありません	行っていません
Q 1 6 - 2 行政機関や地方公共団体等との連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。	特にございません。	Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	—
1 7 国際機関等との連携について				

（設問）	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
Q 1 7 - 1 国際機関や専門機関等との間で連携・協力に向けた取組（※）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、情報共有、対象サービス上でのコンテンツの優先的表示、イベントの共催・後援など。	当社（旧 LINE および旧ヤフー）は、G7 デジタル・技術大臣会合関連イベント「フェイクニュースと日本—私たちにできること・社会としてできること—」（国際大学 GLOCOM 主催、総務省およびグーグル合同会社後援、2023 年 4 月開催）に協力参加しました。 ・ https://www.soumu.go.jp/photo_gallery/02koho03_03004345.html（総務省 HP） ・ https://www.glocom.ac.jp/events/information/8716（「フェイクニュースと日本」イベントページ）		特にありません	—
Q 1 7 - 2 国際機関や専門機関等との連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。		Q11-2 と同様、連携に関する具体的な情報不足、担当者の確保が難しいことがある	—
Q 1 7 - 3 その他、国際連携の観点から行っている具体的な取組（国際会議への出席など）があれば、詳細御教示下さい。	特にありません。	現時点では、上記のような取組は行っていないため、大変恐縮ながら、Q 1 7 - 1 ～ 3 について回答できる内容はございません。	特にありません	—
1 8 その他のステークホルダーとの連携状況について				
Q 1 8 - 1 日本国内に所在するその他のコンテンツ制作主体（※）との間で連携・協力に向けた取組を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 1 ジャーナリスト、クリエイター、ネットメディアなど。日本国内で活動しているものを含みます。 ※ 2 例えば、情報・ノウハウの共有、資金援助、人材交流、対象サービス上でのコンテンツの優先的表示、イベントの共催・後援など。	【Yahoo!ニュース エキスパート】 ・ 2023 年 8 月、さまざまな分野の専門家やジャーナリスト、クリエイターが自らの知見をもとにユーザーの新しい気づきや考えるヒント、行動につながる情報を発信するプラットフォームを新たに開始。記事や、コメントで各分野のエキスパートからの信頼性の高い情報を提供しています。 X 課金時代に初めて体験する大地震。閲覧数目当てのデマに注意 （1/1 21:22 公開 いち早く X のデマ投稿	当社では多くのコンテンツ制作主体者様に協賛・ご協力いただき、多種多様なイベントを開催しております。その一例が以下の通りです。 https://dwango.co.jp/business/event/ また、日本ネットクリエイター協会（https://jnca.or.jp/index_pc.html）等、クリエイターの方々の支援に繋がる組織への参加もしております。	特に取組はありません	行っていません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	に対して注意喚起を行った) https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c2bcedf4dc1bb73ebd21795ee28915ab5346e40f 能登半島地震 決して許してはいけない災害便乗の悪質商法 どんな備えをしておくべきか (1/5 専門家によって災害時の詐欺情報等をまとめた記事) https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/bae3d7dc043ba3236a3028c2c05f810c8b4c5bb6 偽情報対策に限らないが、専門家による執筆記事を、わかりやすい図解とともに上記災害まとめページで紹介した 例) 台風・浸水時に役立つ携帯トイレの使い方 https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6a9eedb99b60e892af957d1b12dde93e49efb228 参考) Yahoo!ニュース エキスパートについて https://support.yahoo-net.jp/ScnNews/s/article/H000011258 8月1日に「Yahoo!ニュース エキスパート」が誕生します(※2023年8月リニューアル) https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/ynews_expert_info.html 「クリエイター」のほか、Yahoo!ニュース個人(以下、「ニュース個人」)の書き手である「オーサー」「コメンテーター」総勢約2600名が「Yahoo!ニュース エキスパー			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	ト」に参加。それぞれの強みをかけあわせて強化することで、各分野のエキスパートたちが集う国内最大級のプラットフォームとして発信力を高めていきます。			
Q 1 8 - 2 日本国内に所在する他の電気通信事業者（※）との間で、ゼロレーティングサービスの享受などを通じた連携を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 日本国内で事業を運営しているものを含みます。	偽情報・誤情報対策の観点からのゼロレーティングサービスの享受を通じた連携は行っておりません。	現時点では、上記のような連携は行っておりません。	特に取組はありません	行っておりません
Q 1 8 - 3 日本国内に所在する他のプラットフォーム（※１）事業者やメタバース関連事業者（※２）と連携・協力に向けた取組（※３）を行っている場合は、その詳細を御教示下さい。 ※１ SNS、検索サービス、動画共有サービス、ブログ・掲示板、ニュースポータル、キュレーションなど。 ※２ 日本国内で事業を運営しているものを含みます。 ※３ 例えば、情報共有、技術提携・実装、人材育成・交流、イベントの共催・後援など。	特にありません。	一般社団法人 VRM コンソーシアム (https://vr-consortium.org/) 等への参加により、他のプラットフォーム事業者様やメタバース関連事業者様との連携・協力を図っております。 また、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会 (https://www.cesa.or.jp/index.html) にも参加しており、「CS品質向上委員会」に所属しております。 （組織図：https://www.cesa.or.jp/about/page02.html） この委員会では、以下のような取組を行っております。 ・各メーカーのカスタマーサポートに寄せられた課題・取組事例等の共有 ・消費者トラブルを未然に防ぐ取組	セーファーインターネット協会、安心協、モバイルコンテンツフォーラムなど、業界団体を通じての取り組みや、有志企業担当者との勉強会は随時開催しています。	行っておりません
Q 1 8 - 4 Q 1 8 - 1 ～ 1 8 - 3 のステークホルダーとの連携・協力に向けた取組に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。	特にありません。	特にございません。	行われているイベントや勉強会に関する情報共有の仕組みがあればと思います	ありません

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
19 特に紹介したい取組について				
Q19-1 「プラットフォームサービスに関する研究会」において2023年3月にとりまとめられた「偽情報対策に係る取組集 Ver.1.0」記載の貴社の取組事例について、更新すべき事項がございましたら御教示下さい。	【災害マップ】 ・パトロールチームが投稿全件を目視確認しています。 ・不適切な投稿を防止するため、キーワードによる機械的な投稿制限を実施しています。 ・投稿できるユーザーは、アプリの位置情報を活用し、被災地に現在地情報があるユーザーだけに限定しています。一部 web から投稿できますが、都度位置確認モジュールを出すなど、被災地以外からのイタズラ投稿や偽情報が投稿されない工夫をしています。 ・画像の真偽判定は、パートナーの Spectee 社が実施しています。X に投稿された、位置情報がついていない写真を AI が解析して位置情報を特定します。最終的には Spectee 社で人による目視チェックも行います。 参考) 「刻々と変化する災害状況をリアルタイムに届ける「災害マップ」」(コーポレートブログ 2022 年 6 月): https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20220615/saigaimap.html	これまでに回答したように、偽・誤情報については主体的な判断が困難なため削除等モデレーション実施に踏み込んでいませんが、デジタル空間における情報流通の健全性確保の観点では、以下の取組を行っております。 ・ニコニコ動画に投稿された動画に公序良俗に反する内容が含まれていないかについては、全件人の目でチェックしています。 ・当社が開発したディープラーニング技術を活用して、他社企業が行うスクールネットパトロール (SNS 監視等) への協力を行っています。	行われているイベントや勉強会に関する情報共有の仕組みがあればと思います	9-1 と同様ですが規約に基づき違反をしたブロガーは収益配分権利を剥奪します。また以下のような取り組みも行っています。 ・真偽不明情報への注意喚起 (https://ameba.esa.io/posts/9303) ・誤情報偽情報リスクの高いブログを主要回遊枠から除外 (偽誤情報に限らず、健全性を脅かす恐れのあるコンテンツ全般)
Q19-2 以上御回答頂いたほか、偽・誤情報の流通・拡散への対策をはじめ、デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた貴社の取組として共有可能なものがございましたら、当該取組の詳細 (※1) を御教示下さい (※2)。 ※1 例えば、当該取組を実施するに至った背景・課題、当該取組による効果など。 ※2 この質問への御回答内容は、前記	【Yahoo! 検索】 ・社会的混乱関係 (災害等) 大規模な災害が発生した際などは、関連するワードで検索した際に、各自治体や省庁などが発信している情報等をはじめ、信頼性が高い情報をまとめ、検索結果画面の上部に掲出する取組を行っている。 ・健康・医療関係 (コロナ関係等) 医療に関する信頼性の高い情報の提供を行			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
【御回答に当たっての留意事項】(3)の とおり、本検討会において「偽・誤情報対 策に係る取組事例集(仮称)」としてとり まとめ、公開させて頂く予定です。	うため、特定のワード(例えば「新型コロ ナウイルス」関連の主要なワードや、各種 がんなどの病名、医療用医薬品の名称、子 育てや妊娠関連のワード等)で検索した 際、公的機関の情報や専門家監修の情報 等、信頼性が高い情報を まとめて、検索結果画面の上部に掲出する 取組を行っている。同様にワクチンの情報 を求めるようなワード(「ワクチン」「ワク チン反対」「ワクチン危険」等)において も、厚生労働省等と連携して、検索結果画 面の上で適切な案内や誤情報への注意喚 起をするような施策を行っている。 ・全般・その他 「フェイクニュース」と検索した際に、概 要や注意喚起を促す情報を掲出すること で、不確かな情報に惑わされないような啓 蒙につなげる取り組みを行っている。 【LINE NEWS】 ・掲載ポリシーを定めて公表し、メディア プラットフォームとしての信頼性の確保に 努めています。 掲載ポリシーURL： https://news.line.me/publishpolicy/ ・誤報であると報道や注意喚起がされてい る場合には、その旨を可能な範囲で目立つ 場所に掲載し、誤報による影響を最小限に できるよう編成しています。(たとえば、 ロシア・ウクライナ関連のフェイクニュー スや偽情報への注意喚起やファクトチェッ ク結果(ファクトチェック・ナビ)を掲載 しています。) ・「フェイクニュースや誤情報への注意喚 起」のブロックを設け、信頼できる情報発 信者として選定した公的機関やNHKをはじ めとするサイトなど、ユーザが一旦立ち止			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	まっって考えられる情報を提示しています。 ・ユーザーの目に留まりやすい場所において、信頼できる情報を分かりやすく提示するため、以下の取り組みを行っています。 ①公共性・公益性の高い情報をユーザーの目に入りやすい位置に優先的に配置しています。 ②社会課題や分かりにくい時事ネタを分かりやすく解説する動画コンテンツ（NEWSグラフィティ）を無償提供しています。 ③ウクライナ情勢に関する記事に、フェイクニュースや誤情報への注意喚起のコーナーを設置し、信頼できる機関やサイトの情報を紹介したり、ファクトチェック団体の活動への導線を設けました。 ④新型コロナウイルス関係の最新状況まとめサイトを設置し、速報や国内の感染状況一覧、国内の感染者数推移、世界の状況等の情報を記載しました。 【LINE NEWS】 ・掲載ポリシーを定めて公表し、メディアプラットフォームとしての信頼性の確保に努めています。 - 掲載ポリシーURL： https://news.line.me/publishpolicy/ ・誤報であると報道や注意喚起がされている場合には、その旨を可能な範囲で目立つ場所に掲載し、誤報による影響を最小限にできるよう編成しています。（たとえば、ロシア・ウクライナ関連のフェイクニュースや偽情報への注意喚起やファクトチェック結果（ファクトチェック・ナビ）を掲載しています。） ・「フェイクニュースや誤情報への注意喚起」のブロックを設け、信頼できる情報発信者として選定した公的機関やNHKをはじ			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	めとするサイトなど、ユーザが一旦立ち止まって考えられる情報を提示しています。 ・ユーザーの目に留まりやすい場所において、信頼できる情報を分かりやすく提示するため、以下の取り組みを行っています。 ①公共性・公益性の高い情報をユーザーの目に入りやすい位置に優先的に配置しています。 ②社会課題や分かりにくい時事ネタを分かりやすく解説する動画コンテンツ（NEWSグラフィティ）を無償提供しています。 ③ウクライナ情勢に関する記事に、フェイクニュースや誤情報への注意喚起のコーナーを設置し、信頼できる機関やサイトの情報を紹介したり、ファクトチェック団体の活動への導線を設けました。 ② 新型コロナウイルス関係の最新状況まとめサイトを設置し、速報や国内の感染状況一覧、国内の感染者数推移、世界の状況等の情報を記載しました。 【Yahoo!ニュース（本体）】 ・Yahoo!ニュースでは、偽・誤情報の流通・拡散への対策として、信頼できる情報提供元の媒体社と契約し、媒体社にお守りいただく記事入稿ガイドラインを定めているほか、適宜、偽・誤情報に関する情報交換等を実施しています。 ・有事や災害、パンデミックなどの偽・誤情報が発生しやすいタイミングには、ファクト情報の伝達・支援、啓蒙啓発・リテラシー向上施策に積極的に取り組んでいます。 ファクト情報の伝達・支援としては、公的機関等による正しい情報を含む、情報のまとめページを制作し、サービス上の目立つ			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	場所に掲出しています。そのほか、偽・誤情報等の打ち消し・注意喚起記事を、最も目立つ場所である Yahoo! ニューストピックスへ積極的に掲載したり、コメント欄や特設サイトなどにおいて、専門家による解説・フォローアップを行う等しています。 参考) 「能登半島地震 最新情報まとめ」サイト URL : https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a 「災害時の情報との向き合い方」サイト URL : https://news.yahoo.co.jp/pages/20240131 能登半島地震に関する打ち消しトピックスの例) 能登地震 虚偽情報の拡散に注意(1/2) 「息子挟まれた」SNS に虚偽投稿(1/2) 迫る 72 時間 デマ拡散「命関わる」(1/4) 偽の救助要請 閲覧数稼ぐ狙いか(1/5) 被災者装いデマ投稿 法的問題は(1/5) 2 次避難の偽情報 首相が注意喚起(1/13) 災害デマ拡散 背景にインプ稼ぎも(1/19) 地震巡る偽情報判別へ 開発支援 (1/24) また、ファクトチェック・イニシアティブ (FIJ) や日本ファクトチェックセンター (JFC) の活動に賛同し、資金面での支援に加え、コンテンツ面での連携(特設サイトへのリンク、ファクトチェックコンテンツの Yahoo! ニュースへの配信など)を行っています。 啓蒙啓発・リテラシー向上施策としては、			

(設問)	LINE ヤフー	ドワンゴ	はてな	サイバーエージェント
	有識者やメディアと連携して、フェイクニュース対策に関する啓蒙啓発コンテンツ制作を行うほか、総務省等の取り組みにも協力してユーザーに対する普及啓発に活用しています。			
20 その他				
Q20-1 以上御回答頂いたほか、デジタル空間における情報流通の健全性確保に関する課題や今後の対応にあたっての基本的な考え方、具体的な方策などについて、御意見や補足等ございましたら御教示下さい。	個々のデータ項目に係る問題意識や評価基準・指標について明らかにした上で依頼いただければ幸いです。また、仮に今回の回答内容について会議として何らかの評価を行うのであれば、評価のプロセスにおいて追加の情報提供等が可能となるよう、各事業者の会議への参加をお認めいただくなど事前にコミュニケーションを十分に行っていただくようお願いいたします。	明らかに公序良俗に反する内容であったり、権利者本人から権利侵害による削除要請があったようなケース以外について、プラットフォーム事業者である当社が独自に「偽・誤情報である」等の判断を行い削除するのは、同じく表現の自由の問題からも、非常に困難であると考えます。そのため、プラットフォームに求める自主的な偽・誤情報への対処については、弊社が行っておりましたコロナウイルス関連の情報への対処のように、削除等のコンテンツ表示規制ではなく、ユーザーへの啓蒙程度が現実的であると考えています。その上で、専門機関等から根拠を持って偽・誤情報であるとの指摘があった場合には、速やかに対応を行わせていただく体制を整えられればと考えております。		偽・誤情報及び、偽・誤情報流通拡散の定義を総務省のガイドラインとして明確にしてプラットフォームや事業者側が参照できるようにしていただけると今後の全然的サービス運営がやりやすくなるのでご検討いただきたいと思います。